

スコアカードの打数を入力して試合の順位を計算するプログラムです。

※ 2 個のプログラムを収録しており、同梱の「XL_Z4_AR 全試合スコア集計」をインストールする必要があります。本プログラムからデータを取り込み「年間、月間、週間…」を手入力なしで集計するプログラムです。

XL_4R_グラウンドゴルフ集計 プログラム説明書

Version 13.01

(Excel 2021, 2016, 2013, 2010 に対応)

Word2021 で作っていますがサイズが大きいため添付できません。下記 URL で配布しています。

Word 版 説明書、サンプル試用ファイルダウンロード URL :

<http://tatsu.la.coocan.jp/>

※ 上記の URL は「https://…」ではないためブラウザから警告が出ますが安全です。
ご心配にはおよびません。

2025. 01. 16

By Tatsu

著作権 : 著作権は本プログラムの作成者にあります。
配布・転載 : プログラムの配布、転載等は一切お断りします。

連絡先 : E-Mail: w-tatsul4a@nifty.com

目 次

1 この説明書の使用方法	- 1 -
(1) Word 版の説明書ファイルの配布	- 1 -
(2) Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法 :	- 1 -
(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。	- 2 -
(4) Word のカーソル「 」が小さくて見えない場合.....	- 2 -
(5) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。	- 2 -
(6) プログラムの使用にあたってのご注意	- 2 -
2 概要・特徴など	- 3 -
3 配布用ファイルの説明とインストール・アンインストール	- 9 -
(1) 配布用ファイルの説明	- 10 -
(2) インストール前の注意事項（重要）	- 12 -
(3) インストール・アンインストール.....	- 13 -
(4) コンテンツの有効化	- 13 -
(5) インストール	- 13 -
(6) アンインストール	- 14 -
(7) 新バージョンに更新する場合.....	- 15 -
(8) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方	- 15 -
4 「グラウンドゴルフ集計サンプ」の使用方法.....	- 17 -
(1) 本プログラム専用のグラウンドゴルフタブについて	- 17 -
(2) 新しく競技用のデータを格納するフォルダとファイル	- 17 -
(3) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る	- 17 -
(4) 2 回目以降の競技集計用ファイルを作る	- 20 -
(5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む.....	- 20 -
(6) 「メンバー編集」シートで競技者順位を編集	- 21 -
(7) グループ_スタート編集.....	- 23 -
(8) グループ_STH_氏名編集「大大会用メンバー」の編集	- 25 -
(9) グループ_STH_氏名編集「中大会用メンバー」の編集	- 26 -
(10) スタートホール番号記入.....	- 27 -
(11) 「メンバー編集」シートの取り込み.....	- 27 -
(12) 氏名の書き出し	- 28 -
(13) メンバーシート書き出し.....	- 28 -
(14) スコアカードの利用方法.....	- 28 -
(15) メンバーシートの「同好会用メンバー.xlsx」取り込みの場合 :	- 29 -
(16) メンバーシートの「大大会用メンバー.xlsx」取り込みの場合 :	- 29 -
(17) 「毎回入力データ」シートの打数の入力	- 31 -
(18) 「毎回入力データ」ダイアログボックスのコマンド（ボタン）等の説明.....	- 33 -

(19) 「毎回入力データ」ダイアログボックスのショートカットキー等の説明.....	- 33 -
(20) 「集計入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力.....	- 34 -
(21) データ入力ダイアログボックスの表示をするには	- 34 -
(22) 行の挿入と削除	- 35 -
(23) 集計順位を計算して表示するには.....	- 36 -
(24) 「点数順集計表」シートに同順位が発生した場合	- 36 -
(25) 印刷	- 39 -
(26) Z4 全試合スコア集計	- 39 -
(27) 多人数による大会での集計方法.....	- 40 -
5 その他の機能について	- 43 -
(1) 新規開始／追加／変更	- 43 -
(2) 字幕と罫線引き	- 44 -
(3) No の記入.....	- 44 -
(4) No の列で昇順並べ替え	- 45 -
(5) 書式の設定式の再入力	- 45 -
(6) データ入力漏れチェック.....	- 45 -
(7) No 重複 空白調査	- 46 -
(8) 氏名の重複 空白調査	- 46 -
(9) エラーカラー消去	- 46 -
(10) 検索	- 46 -
6 その他このプログラムを使用する場合について	- 48 -
(1) 氏名の行を一行横に選択して分かり易く判別	- 48 -
(2) 印刷について	- 48 -
(3) 毎回入力データシートを使用しない場合	- 49 -
(4) 集計入力データシートを使用しない場合	- 49 -
7 トラブルが起きた場合	- 50 -
(1) 全試合スコア集計タブのコマンドがシートで切り替わらない。その他のトラブル ..	- 50 -
(2) Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する	- 50 -
(3) ある日突然考えられないような異常な動作をするようになったなどの場合.....	- 51 -
8 データベース化した本プログラムの使い方要約	- 52 -
(1) 新しい大会集計用ファイルを作る.....	- 52 -
(2) メンバーの試合順位構成する.....	- 52 -
(3) 「No」「GN」「Start Hole」「氏名」の取込.....	- 53 -
(4) 打数の入力と成績順位の集計.....	- 53 -
(5) XL_Z4_AR 全試合スコア集計プログラム	- 53 -
9 バージョンの変更内容	- 54 -
(1) バージョンアップについての変更内容.....	- 54 -
10 拡張子の説明	- 56 -
(1) 拡張子について	- 56 -

(2) Windows10 の拡張子の表示方法 :	- 57 -
(3) Windows11 の拡張子の表示方法 :	- 57 -

1 この説明書の使用方法

この説明書はペーパーレスを前提として作っており印刷して使用した場合は「Acrobat Reader DC」の便利な機能リンク先へジャンプが使えません。

「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」と、この「XL_4R_グラウンドゴルフ集計プログラム説明書」を同時に開き「[図 1 タスクバーを使用](#)」の図のように「Excel」と「Adobe Reader」をタスクバーで切り替え「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を実践しながら本説明を読むと理解し易くなります。



図 1 タスクバーを使用

本説明書の「目次」や「各章」の“[「」](#)”でくくった「青色」文字列の部分をクリックするとリンク先にジャンプし「図」、「表」、「説明」を参照できます。

「Acrobat Reader DC」を使用して PDF 版説明書を開いた場合は「青色」文字列上をポイントし「手」のマークでクリックし「進む」ジャンプ先ではショートカットキーの操作で Alt + 左向き矢印で戻り、進む場合は Alt + 右向き矢印キーが使用できます。

参照先に移動してみないと理解しにくいということがありこの方法をご利用ください。

(1) Word 版の説明書ファイルの配布

Word2016 で作っていますがサイズが大きいため添付できず表紙の URL で配布しています。上記で説明の「Acrobat Reader DC」では「戻る」、「進む」の操作において特に「戻る」の操作の場合、元の位置を少し外れて戻ってしまい非常に使いにくい点があります。本説明書は Word で作成しており、Pdf に変換したとき「相互参照」の文字の色「青色」や下線がところどころ消えて分かりにくい点があります。(Alt+F9 でフィールドを更新する場合も色が抜けるので Word のバグ?)

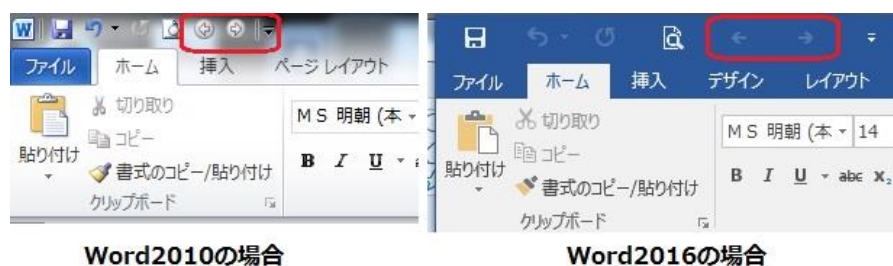


図 2 Word の「戻る」、「進む」ボタンの表示

(2) Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法：

Word2010 の場合「[図 2 Word の「戻る」、「進む」ボタンの表示](#)」クイックアクセスツールバー（赤枠のバー）の中に「戻る」、「進む」ボタンを作るにはクイックアクセスツールバーの右端にあるドロップダウンをクリックして＜その他のコマンド(M)＞ Word の「オプション」ダイアログボックスを開き「クイックアクセスツールバーをカスタマイズします」の下「コマンドの選択(C)」リストボタンで＜リボンにないコマンド＞「戻る」ボタンをクリック＜追加(A)＞を押します。同様に「進む」ボタンをクリック＜

追加(A) > - <OK>を押します。

(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。

「Acrobat Reader DC」ではツールバーのズームイン「⊕」で倍率を上げてください。

Wordの場合は「表示」タブの「ズーム」をクリックし「指定(E)」に適当な数字を入力して見やすくしてください。

(4) Wordのカーソル「|」が小さくて見えない場合

上記の「戻る」、「進む」の操作においてカーソル「|」が見えにくい場合は次のようにすると楽です。(Windows10の機能です) 参考URL: <https://eee-life.com/bb/a/60>

1) コントロールパネル開くために<Windows キー(Altの左側キー)> - <c> - <p> - <Enter>の順にキーを押してください。

2) コントロールパネルの<コンピューターの簡単操作>を選択。

3) <コンピューターの簡単操作センター>を選択。

4) <コンピューターを見やすくします>を選択。

5) <画面上の項目を見やすくします> - <点滅カーソルの太さを設定します>

リストボックスの数値を「2~4」程度に変更し、プレビューで大きさを確認して<OK>を押します。

(5) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。

<ホーム>タブ - <編集>グループ - <検索>リストをクリック - <高度な検索(A)>をクリックし「オプション(M)」ボタンで「あいまい検索」のチェックを外します。

「検索する文字列(N)」ボックスに検索文字を入力して説明場所を探す方法が便利です。

(「あいまい検索」のチェックボックスはOFFの方が探し易いので何時もOFFで探しています。)

(6) プログラムの使用にあたってのご注意

フリーソフトですが、著作権は放棄していません。プログラム、説明書、関連するものを別のすべての媒体へ複製または、頒布、転載などのすべてを禁じます。

競技者に電子メール等で配布する場合、試合のデータファイル(「[拡張子](#)」が「*.xlsx」)は構いません。

アドインプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg.xlam」や「GG_同好会メンバー2014年度.xlsm」、「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg インストール.xlsm」、「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg アンインストール.xlsm」はプログラム含んでいるので配布は一切禁止します。

このソフトの使用による直接的、間接的なあらゆる損害の免責を、承諾の上でご使用ください。

Excelのすべてバージョンや使用機器で完全な動作確認をしているものではありません。(開発や動作試験の確認については配布ファイルReadme.txtに記載したとおりです)

このサンプルで使用する社名・人名・電話番号・その他はすべて架空のものです。

本説明書では作成時のExcelのバージョンが複数にまたがり画像がバージョンによってそれぞれ異なるため予めご了承ください。

2 概要・特徴など

- 1) 添付のファイルは、大会や同好会の競技集計用である「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」と同好会などの年間集計用として使用する「XL_Z4 全試合スコア集計PG」の2種類のプログラムを一緒にして配布しております。後出しのプログラムが必要ない場合は使わなくても済みます。これらのプログラムはインストーラーと説明書がそれぞれ別にあります。「[図 7 配布ファイルの内容](#)」の図を参考にまず本書からご覧ください。

- 2) グラウンドゴルフ同好会などで成績結果を掲載すると競技の楽しさも一層向上することは言うまでもありません。

本プログラムはExcelのマクロ付きプログラムとは違い、マクロを含まない試合データをアドイン (Add-in) と言う別のプログラムが「[図 17 グラウンドゴルフタブ](#)」を表示して使い易くしております。

「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」のように表示ができること、試合の集計の度に氏名などを手で打ち込むことなく「メンバー編集」シートから氏名、グループ番号、スタートホールの順番から No まで取込むなど数多くの機能を備え時間の掛かる手作業を省きます。

- 3) 最初にご注意いただきたいのは、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を一般のExcelファイルと同様にプログラムを含んでおりません。

後述する添付のインストーラーを使用してプログラムをExcelに認識させることで初めて専用の「グラウンドゴルフ」タブやダイアログボックスが表示し、集計が可能になります。セキュリティの関係があり「[3 \(2\) インストール前の注意事項 \(重要\)](#)」を事前に実行しないとインストールできないのでご注意ください。

- 4) インストールが済んだ場合、データシートへ直接入力も可能ですが「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の「毎回入力データ」シートで氏名の上を右クリックすると「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」を表示します。（「[3 \(3\) インストール・アンインストール](#)」の項を実行するのは説明を読み進むまで我慢し各項の説明を順次進みフォルダ構成方法などを熟知した後試してください）説明を読むのは面倒だと言う場合はこのプログラムを使うのはご無理があります。

- 5) 各グループが競技をするスタートホールはグループ (GN) ごとに違うため、氏名の表示と

同時に図の赤い矢印方向の「5」のようにスタートホールの番号をスコアカードに合わせて先頭に自動表示するためデータ入力がとても簡単で早くなります。図では5番ホールからスタートした例になります。（シート上からスタートホールを読み込んで「[図 3 データ入力](#)

	5	6	7	8	1	2	3	4	実打	H1	2打	3打	合計	Input
1R	2	3	4	2	2	2	2	3	20		5	2	20	<input type="checkbox"/>
2R	3	4	3	3	2	2	2	3	22		3	4	22	<input type="checkbox"/>
3R	5	2	3	3	2	3	2	3	23		3	4	23	<input type="checkbox"/>
4R	4	2	2	4	3	3	3	3	24		2	4	24	<input type="checkbox"/>
Total									89		13	14	89	

図 3 データ入力ダイアログボックス

「ダイアログボックス」のように5番ホールがすぐ入力できるのです。スタートホールは図の赤枠のスピンのボタンで入力することもできるし、ホール番号をダブルクリックするだけでホール番号が先頭に表示します。

- 6) グラウンドゴルフでは、1ホール当たりの打数は、よほど難しいコース以外は1桁です。打数を入力する時は、「Enter」キーを押す必要がありません。この図の例で打数を入力する場合、5～8ホールの入力は、細線赤色枠囲い①のように「2342」、1～4ホールは②の「2223」と入力すると2回の入力で済み、ごく簡単に入力できます。記憶力が良ければ「23422223」と8桁を1度で入力しても構いません。難しいコースで2桁の打数を入力する場合は「2桁入力」ボタンを押して入力することができます。
- そんな・・・全部入力なんて大変！メンドクサイなんてことは間違いです。トータルだけを入力する「集計入力データ」シートも用意してありますが殆んど時間は変わりません。
- 7) 入力が済んだ場合は、グラウンドゴルフタブの＜集計＞をクリックすると即時に「点数順集計表」、「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別のホールインワン順」などのシートに即時に集計して表示します。
- プレーは4ラウンドまで対応しており4ラウンド以下なら何ラウンドでも集計ができます。
- 詳しい説明は「4 (17) 「毎回入力データ」シートの打数の入力」の項で説明しています。
- 8) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてグラウンドゴルフの打数を入力する方法には次のA)、B)二種類の方法がありますが、「A)」項の方は上記「5)」項で少し説明しましたが作者としては「A)」項の方をお勧めしたいと思います。
- A) 「毎回入力データ」シートへ入力する場合。
- 各ラウンド、各ホールの打数をすべて入力する方法で、一見大変そうに思えますが前述したとおり入力が意外に簡単で早く競技中に入力したスコアカードは計算間違いやミスが毎試合のように結構あり、この方法はこれらの間違いの発見ができ、スコアカードの計算間違いが多いことが問題でデータ入力よりもそのミスの修正に手間取る始末です。
- B) 「集計入力」データシートへ入力する場合。
- 各ラウンドの実打合計とH1、2打、3打、などスコアカードに集計したのを見て入力します。こちらが一見入力の手間が省けそうですが実際には意外と面倒です。このB)項の入力方が良いと思われる場合はこちらでご使用ください。
- 参考ですが、9ラウンド以上の試合でも、スコアカードは計算間違いを入力しない方法を取って、スコアカードの全ラウンドのトータル実打、H1、2打、3打だけを1Rに入れて順位だけを集計していると言うことも聞いております。
- 9) このAdd-inタイプの「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム」はプログラムとデータが別々のフォルダに存在し、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」など日付の違う試合データを起動すると別の「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」フォルダにあるプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」がデータのすべての動きを制御して計算します。
- 10) Add-in タイプでは起動時に「マクロを有効・無効」などが表示しない上、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」など試合ごとの1個あたりのデータファイルのサイ

ズはマクロを含まないため一個当たりのファイルサイズが極めて小さくなります。またグラウンドゴルフの別の日付のファイルを同時に複数開いてもプログラムである「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」は同時制御が可能です。

- 11) 大勢の競技にも対応しており打数順位を短時間で公開でき、最大 1,000 人までの集計を可能にプログラミングしています。
- 12) グラウンドゴルフのルールにより合計＝「実打」－「ホールインワンの数」× 3 として式を設定しています。
- 13) このプログラムにおいて順位を付ける場合、ルールを次の基準を元に決定します。
- 14) 合計の少ない方が、順位が上です。
- 15) 合計が、同点である場合は H1 (1 打→ホールインワン) 2 打、3 打の打数の回数が多い方が、順位が上位 (3 打より 2 打、1 打が多い方が上位) としています。
このためこのプログラムによる集計処理をすると同点であっても同順位の発生は少なくなります。「点数順集計表」シートの「X」列と「Z」列の各行を参照。
- 16) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」を開くと「点数順集計表」シートに赤色と緑色の字幕の部分があり、合計点だけでなく H1、2 打、3 打も同数で、完全な同順位になります。
シートに同順位がある場合は同順者だけでゴールに向かってボールを打ちゴールに近い方が上位と言う約束で「ニアピン」競技を行い「点数順集計表」シートにその結果を記入することもできます。再度「点数順集計表」シートで「データ集計」をクリックするとリアルタイムで同順位を消して順位を付けることも可能です。「4 (24) ※ ニアピン競技」
- 17) 機能の一例になりますが例えば 1 回目の競技が終了 2 ラウンド目のプレーをしている間に 1 回目のデータを入力する場合、一人目の競技者の 1 ラウンドの入力が終わると「セルへ転送」がフォーカスしており「Enter」するだけで自動的に次の競技者名をダイアログボックスに表示し、1 ラウンドの最初のホールの入力ボックスをフォーカスするので打数の入力がすぐできます。
- 18) データを入力するには大会順位の発表待ち時間を少なくするために 1 台のパソコンで入力する方法以外に複数のパソコンで入力を分担し、プレーが終わると複数のパソコンのデータを USB フラッシュメモリーに保存し、集計用のパソコンに集め、これらのファイルを毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートから＜GG ファイル取り込み＞を 1 回の操作で取り込み、「データ集計」を選択して一気に集計し、待ち時間を極短時間にすることができます。この説明は後述する「4 (27) 多人数による大会での集計方法」になります。
- 19) その他、データをシートに入力する際、入力するセル以外の関数式を誤って消す事が無いように、また万一消した場合でも式の再入力をあらゆる形でリカバーしています。
- 20) 「図 4 プログラムの関係」の図は添付した 3 個のファイル相互間のデータ提供と受け側の利用目的の図になりますが、中段の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」は競技が済みスコアカードから成績を読み取りデータを入力し集計するプログラムで毎試合ごとの集計プログラムを 1 つのフォルダ内にまとめて保存しておきます。上段、下段の何れも専用の

プログラム処理コマンド（アイコン）をクリックして赤い矢印のようにアクセスしてフォルダを選択するだけで青い矢印のようにデータをまとめて取り込み上段は多人数の大会用としてスコアカードの印刷に使用します。下段は打数などを一切手入力することなく「週間」、「月間」、「年間」、「四半期」、「優勝回数」などの成績を集計でき、印刷して掲載ができるプログラムです。

「[図 4 プログラムの関係](#)」の図の中段と下段のプログラムについては簡易説明を「[8 データベース化した本プログラムの使い方要約](#)」で説明しており実践される場合は印刷して参考になさってください。上段のプログラム自体の説明書は表紙の URL ホームページで掲載しています。当配付プログラムからのアクセス方法は「[4 \(14\) スコアカード](#)」で説明しています。



図 4 プログラムの関係

21) グラウンドゴルフ同好会などの試合結果を次回の試合会

場で掲載する時は「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014. xls」の場合は末尾の「[図 6 年間・月間 集計表](#)」を印刷して掲載し、本説明書の元データでもある「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xls」については「[図 5 点数順集計表](#)」を印刷し、これらの二種類を掲載すれば良いのではと思います。また、試合会場で年度末の打ち上げや、何かで同好会で飲み会などがあった場合は「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014. xls」サンプルによる「優勝回数」シートや「四半期データ」シートの成績などを発表すると喜ばれます。

電子メールを用いれば同好会の希望者には「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xls」や「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014. xls」などを試合があるたびに送ることもできます。

22) 作者が NEW バージョンを発行した場合の更新は「グラウンドゴルフインストール・アンインストール. xls」を使用して簡単に更新ができます。

23) 拡張子を表示しないとファイルの区別が分かりにくくて非常に使いにくいので、「[10 \(1\) 拡張子について](#)」を参照して表示するように設定してください。

注記：「[プログラムの使用にあたってのご注意](#)」に記載したようにご利用者が本プログラムを使って作成した拡張子が「xls」のマクロを含まないデータファイルをメンバーの方などへメール配信などをされることはご自由にされて構いませんが、アドインプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xls」「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg インストール. xls」、
「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg アンインストール. xls」などはプログラムに含んでいますので配布を一切お断りします。プログラムが無くてもデータを見ることはできますので、フリーソフトではあってもプログラム等が必要な場合はベクターから「グラウンドゴルフ集計プログラム(Excel 版)」をダウンロードしてご使用ください。

点数順集計表

競技大会： 2015年03月29日(日) グラウンドゴルフ同好会

No	GN	氏 名	1R				2R				3R				4R				Total				合計	ニア ピン	順位
			実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打			
3	1	瀬山 秋子	22		4	2	20	1	2	5	25		3	1	17	3	1	4	84	4	10	12	72		1
18	3	中川 由加里	19	1	4	2	19		5	3	21	1	2	4	19		5	3	78	2	16	12	72		2
2	1	伊藤 紀江	29			5	19		5	3	22		3	4	14	3	4	1	84	3	12	13	75		3
1	1	川岡 秀雄	23		2	5	23		2	5	23	1	1	4	16	2	4	2	85	3	9	16	76		4
4	1	青木 真理子	24		2	4	21		3	5	19		6	1	17	1	5	2	81	1	16	12	78		5
9	2	小泉 智亜子	20		4	4	23		3	3	21	1	2	4	21	1	2	4	85	2	11	15	79		6
15	3	谷口 浜子	26			6	20		4	4	21	1	1	6	20	1	3	3	87	2	8	19	81		7
26	5	野山 孝一	22		5		21	1	2	4	20		6		21		4	3	84	1	17	7	81		8
10	2	小林 昭子	22		4	2	24		2	4	19		5	3	20	1	2	5	85	1	13	14	82		9
17	3	内山 恵美子	23		2	5	22		3	4	22		2	6	18	1	4	3	85	1	11	18	82		10
25	5	浅岡 智宏	22		3	4	22		2	6	19	1	3	4	22		3	4	85	1	11	18	82		10
11	2	佐々木 英明	20	1	2	5	24		3	3	21		3	5	22		3	4	87	1	11	17	84		12
29	5	山本 秀子	21	1	2	4	22		2	6	21		4	3	23		3	4	87	1	11	17	84		12
14	3	山住 政人	21	1	1	6	20		4	4	23		2	5	23		2	5	87	1	9	20	84		14
12	2	澤辺 寿子	20		4	4	21		4	3	22		3	4	21		5	1	84		16	12	84		15
20	4	夏川 智実	23		2	5	21	1	1	6	21		4	3	23		1	7	88	1	8	21	85		16
21	4	石宗 和歌子	26		1	4	20	1	2	5	21		4	3	22		2	6	89	1	9	18	86		17
27	5	松山 義之	21		3	5	24		1	6	19		5	3	22		3	4	86		12	18	86		18
30	5	吉岡 由加里	22		2	6	20	1	2	5	25			7	23		2	5	90	1	6	23	87		19
22	4	浜崎 百合子	23		1	7	21		4	3	22		2	6	21		3	5	87		10	21	87		20
24	4	藤木 真紀子	24			8	26		3	1	20	1	2	5	21		3	5	91	1	8	19	88		21
13	3	神宮司 理沙	20		5	2	22		3	4	23		3	4	24		2	4	89		13	14	89		22
28	5	安田 由紀	24		3	3	23		1	7	21		4	3	21		3	5	89		11	18	89		23
16	3	辻井 美津子	23		2	5	20		4	4	24			8	22		4	2	89		10	19	89		24
7	2	長谷川 悦雄	23		2	5	21		3	5	24		3	3	23		4	1	91		12	14	91		25
8	2	木村 素子	22		2	6	25		2	4	22		3	4	22		4	2	91		11	16	91		26
5	1	金子 芳美	24		1	6	28		1	4	22		3	4	21		3	5	95		8	19	95		27
6	1	北村 千鶴子	23	1	2	2	23		3	3	28		2	2	25		1	5	99	1	8	12	96		28
19	4	中山 孝実	32			2	23		4	1	22	1	2	3	23		2	5	100	1	8	11	97		29
23	4	平野 芳子	24		2	4	24		3	3	26		1	4	25			7	99		6	18	99		30

図 5 点数順集計表

2014年度グラウンド・ゴルフ成績表（年間） 基準出席率：50% 自：2014/04/03～至：2015/03/28 (3月分)

番号	氏 名 (敬称略)	試合総合計(順位: 1R平均)					試合RUD数 69 205	
		合計	H1	3R 平均	1R 平均	順位	出席 日数	出席 率
6	金子 芳美	2824	37	59.7	19.89	1	48	70
12	佐々木 英明	3796	49	59.9	19.98	2	64	93
14	神宮司 理沙	3758	42	62.6	20.88	3	60	87
16	谷口 浜子	4113	44	63.0	20.98	4	66	96
9	木村 素子	3950	38	63.4	21.12	5	63	91
28	山住 政人	3604	37	64.0	21.33	6	57	83
1	青木 真理子	3496	31	65.6	21.85	7	54	78
15	瀬山 秋子	4154	26	65.6	21.86	8	64	93
11	小林 昭子	2437	15	65.9	21.95	9	37	54
10	小泉 智亜子	4471	44	67.4	22.47	10	67	97
8	北村 千鶴子	3866	34	67.4	22.48	11	58	84
7	川岡 秀雄	2048	25	60.2	20.08		34	49
13	澤辺 寿子	868	15	62.0	20.67		14	20
4	伊藤 紀江	2008	17	66.2	22.07		31	45
22	長谷川 悦雄	688	5	68.8	22.93		10	14
17	辻井 美津子	89	1	89.0	29.67		1	1
2	浅岡 智宏							
3	石宗 和歌子							
5	内山 恵美子							
18	中川 由加里							
19	中山 孝実							
20	夏川 智実							
21	野山 孝一							
23	浜崎 百合子							
24	藤木 真紀子							
25	平野 芳子							
26	松山 義之							
27	安田 由紀							
29	山本 秀子							
30	吉岡 由加里							
31								
32								
33								
34								
35								

番号	氏 名 (敬称略)	試合総合計(順位: 1R平均)					試合RUD数 7 21	
		合計	H1	3R 平均	1R 平均	順位	出席 日数	出席 率
6	金子 芳美	338	10	56.3	18.78	1	6	86
12	佐々木 英明	349	6	58.2	19.39	2	6	86
14	神宮司 理沙	420	6	60.0	20.00	3	7	100
1	青木 真理子	367	5	61.2	20.39	4	6	86
16	谷口 浜子	377	5	62.8	20.94	5	6	86
8	北村 千鶴子	378	5	63.0	21.00	6	6	86
10	小泉 智亜子	454	8	64.9	21.62	7	7	100
28	山住 政人	391	2	65.2	21.72	8	6	86
15	瀬山 秋子	459	2	65.6	21.86	9	7	100
4	伊藤 紀江	342	1	68.4	22.80	10	5	71
7	川岡 秀雄	104	5	52.0	17.33		2	29
11	小林 昭子	193	1	64.3	21.44		3	43
9	木村 素子	129	1	64.5	21.50		2	29
13	澤辺 寿子	67		67.0	22.33		1	14
22	長谷川 悦雄	142		71.0	23.67		2	29
17	辻井 美津子	89	1	89.0	29.67		1	14
2	浅岡 智宏							
3	石宗 和歌子							
5	内山 恵美子							
18	中川 由加里							
19	中山 孝実							
20	夏川 智実							
21	野山 孝一							
23	浜崎 百合子							
24	藤木 真紀子							
25	平野 芳子							
26	松山 義之							
27	安田 由紀							
29	山本 秀子							
30	吉岡 由加里							
31								
32								
33								
34								
35								

1 / 1

図 6 年間・月間 集計表

3 配布用ファイルの説明とインストール・アンインストール

黄色字幕はフォルダ 水色字幕は Excel ファイルを示す

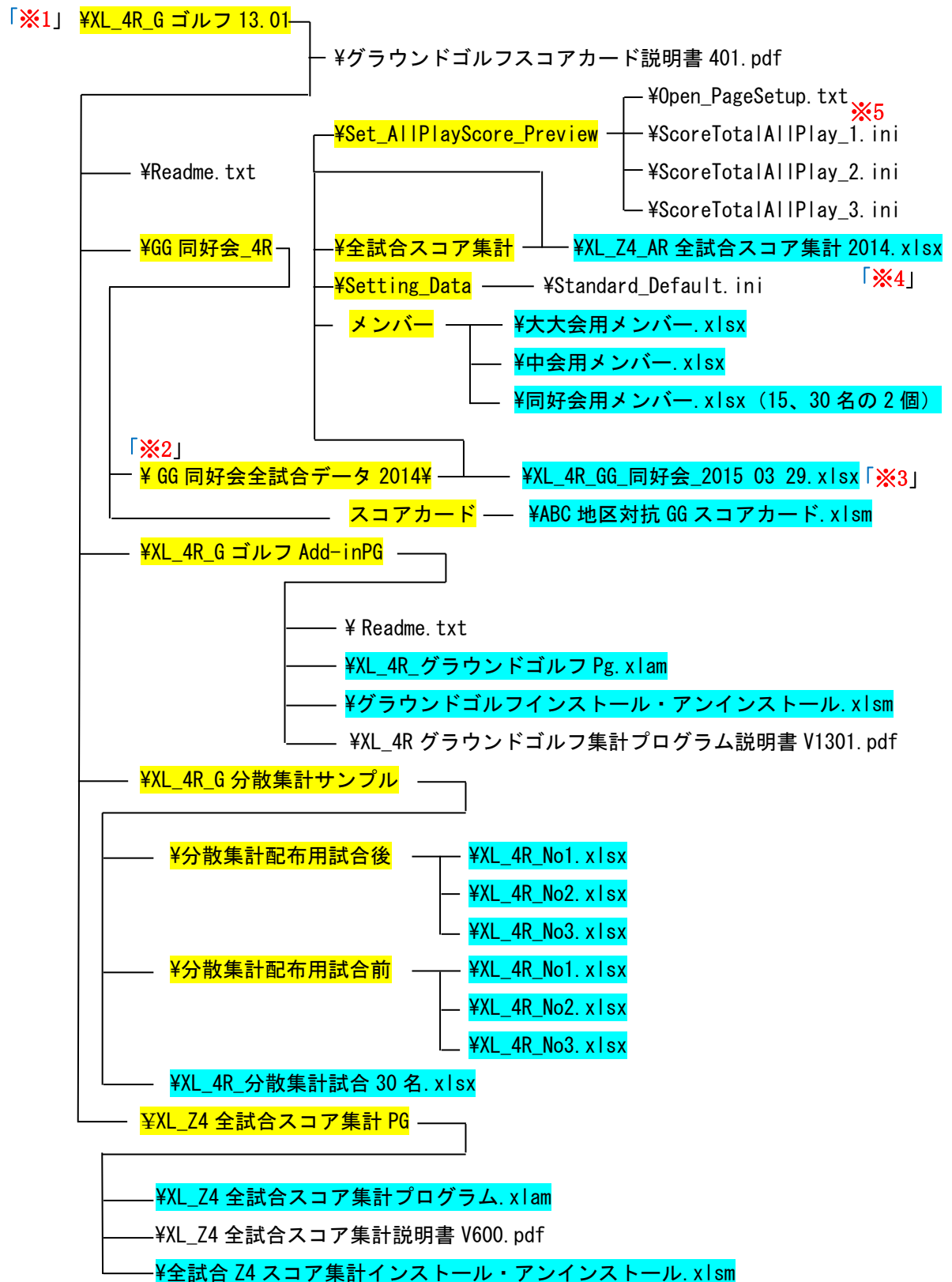


図 7 配布ファイルの内容

(1) 配布用ファイルの説明

配布用の zip 圧縮ファイル「XL_4R_Ggolf1301.zip」をデスクトップで右クリックしてショートカットメニューを表示し、すべて展開(T) > で解凍してできた「XL_4R_G ゴルフ 13.01」フォルダの中は「[図 7 配布ファイルの内容](#)」図のように構成されています。¥マークはフォルダです。

※1 1) XL_4R_G ゴルフ 13.01 フォルダ :

この「XL_4R_G ゴルフ 13.01」をフォルダごとドキュメントまたはマイドキュメントに保存してください。ユーザー用のフォルダは使い易くするため後述する「[\(8\) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方](#)」を参考に作ってください。

※2 2) GG 同好会全試合データ 2014 フォルダ :

「[4 \(2\)](#)」の項を参考に、このフォルダを丸ごと同じ場所にコピー & ペーストしてユーザーが毎回試合をしたファイルを「[図 25 GG 同好会全試合データ 2014 フォルダの中](#)」のようにまとめて格納します。年度が替わった場合は新しいフォルダを作ってください。

※3 3) XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx :

Excel2007 以後のバージョン用のサンプルデータで前記「[2\)](#)」項の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダ内の「※3」の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」ファイルは「ユーザー用」の競技用ファイル作る場合に使用します。このファイルは VBA マクロを含まない普通の Excel ブックです。後述する「[5\)](#)」項のアドイン (Add-in)) と言う別のプログラムが「[図 17 グラウンドゴルフタブ](#)」を表示して使い易くするのですが先頭の 5 文字「XL_4R」をプログラムが識別し「グラウンドゴルフの集計用データ」として「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」を表示するためこの文字が少しでも違うと表示しません。

残りの文字列は「競技名」、「日付」などを加えてファイル名としますが、Windows の定義により、“¥ / , ; : * ? " < > |”などの半角文字は使用できません。

競技集計用ファイルを作るのは Ver8.01 からは自動でプログラム処理により作ることができ「[4 \(3\) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る](#)」並びに「[4 \(4\) 2 回目以降の競技集計用ファイルを作る](#)」の項で説明しています。(末尾の日付は「XL_4R_GG_同好会_2014.03.29」などのように「.」(ドット)の使用も「拡張子」と区別しにくいので半角スペースを使用しているため手動で修正する場合はご注意ください。

※4 4) XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx :

このファイルは参考用です。このファイルを開き名前を付けて保存により別名の「ユーザー用」の集計ファイルとして使用します。先頭には「XL_Z4」の 5 文字が必要です。ファイルを開いていただければ分かりますが「[220\)](#)」や「[221\)](#)」、後方の「[8 データベース化した本プログラムの使い方要約](#)」で説明しているように「¥GG 同好会 _4R¥GG 同好会全試合データ 2014」フォルダを選択することで専用のプログラム処理

コマンド（アイコン）を選択して1回の操作で「年間」、「月間」、「週間」、「四半期」、「優勝回数」などの集計が作成できます。「221」でも説明したように、グラウンドゴルフ同好会などの試合結果を次の試合会場で掲載する時は「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」の場合は末尾の「図 6 年間・月間 集計表」を印刷して掲載し、本書で説明している「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」については「図 5 点数順集計表」を印刷し、これらの二種類を掲載すれば良いと思います。

5) XL_4R グラウンドゴルフ Pg.xlam :

添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」はこのファイルの基でユーザーが集計した「XL_4R_XXX yyyy mm dd.xlsx」(XX はタイトル、yyyy mm dd は西暦年月日) データファイルなどを使用する場合にメニューやダイアログボックスなどを表示するプログラムファイルです。(このファイルはプログラムですから何も表示しませんのでダブルクリックしないでください。インストール後は既に開いているプログラムと競合します。)

6) 「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」:

「5」項のプログラムをアドインに組み込みするときに使用する Excel VBA マクロを使用したファイルです。「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」フォルダの中に「XL_4R グラウンドゴルフ Pg.xlam」と共に保存する必要があります。

新バージョンの更新時には「(7)新バージョンに更新する場合」を参考に使用してください。そのほかアドインに組み込みした場合で、この「XL_4R グラウンドゴルフ Pg.xlam」を使用しない場合にアドインを解除するために使います。

7) 「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1301.pdf」:

この説明書の pdf 版です。

8) 「Redme.txt」:

このプログラムファイルの所在、動作に必要な条件などを記述した簡単な説明ファイルです。

9) 「Standard_Default.ini」:

プログラムが使用する設定用ファイルです。

削除してはいけません。「メンバー編集」シートでメンバーを構成する場合に使用するファイルで「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」フォルダの中に「XL_4R グラウンドゴルフ Pg.xlam」と同じフォルダに格納する必要があります。

10) 「XL_4R_G 分散集計サンプル」:

この「グラウンドゴルフ集計プログラム」では大きな大会の時、集計処理を早く行うためにパソコンを2台以上用意してデータ入力作業を分散して行いUSB フラッシュメモリーに書き出して集計用の1台のパソコンに戻し、すばやく集計を行うことができます。説明については後述する「4 (27) 多人数による大会での集計方法」になります。

11) ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm :

多人数の大会用に「3」項の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」のデータを利用

してスコアカードを手入力なしで編集し競技に印刷用できます。

本プログラムから逆に「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」にアクセスして取り込みできることや次項の「13)」のように「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」にアクセスして取り込むこともできます。このプログラム自体の説明書は Pdf 版は添付済で Word 版は表紙の URL ホームページでダウンロードできます。

12) グラウンドゴルフスコアカード説明書 401.pdf

前「11)」項の ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsxm を単独使用する場合の説明書

13) 大大会用メンバー.xlsx :

XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx の「メンバー編集」シートから「4 (13) メンバーシート書き出し」を実行して保存した多人数の大会用のメンバー編集データです。「メンバー編集」シートに同メニューから取り込むこともできます。

14) 同好会用メンバー.xlsx :

XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx の「メンバー編集」シートから「4 (13) メンバーシート書き出し」を実行して保存した同好会用のメンバー編集データで逆に「メンバー編集」シートに取り込むこともできます。

(2) インストール前の注意事項 (重要)

インストールの前に下記を「1)」～「6)」項の操作を行わないとインターネットからダウンロードまたは電子メールなどで取得したマクロを含むファイルは Microsoft のセキュリティブロックによりインストールできません。次項のインストール時に「図 10 保護されたビュー」のボタンを押すと「図 8 セキュリティリスク」のピンク色のバーを表示して更に同図右端の「詳細表示」ボタンを押した場合「潜在的に危険なマクロがブロックされました」と Web ページを表示して以後インストールすることはできません。「詳細表示」ボタンを押してしまった場合は、上記の「潜在的に危険なマクロがブロックされました」などのページを開いているウィンドウを閉じて下記を「1)」～「6)」項を実行してください。

操作を失敗して「図 9 セキュリティ」の図のセキュリティチェックボックスが表示しない場合はダウンロードしたファイルがブロックされているので今回実行しようとして失敗したすべての「XL_4R_Ggolf1301.zip」、「XL_4R_G ゴルフ 13.01」などダウンロードして操作したファイルを PC からすべて削除した後に、ベクターから再度ダウンロードして下記「1)」～「6)」項を実行してください。



図 8 セキュリティリスク

- 1) 「ダウンロード」フォルダの中に「XL_4R_Ggolf1301.zip」ファイルができます。
- 2) 同ファイルダブルクリックで開くと「XL_4R_G ゴルフ 13.01」ファイルを表示します。
- 3) 同ファイルを右クリックして「切り取り」を押して「ドキュメント」フォルダへ「XL_4R_G ゴルフ 13.01」を貼り付けしてください。

4) ドキュメントの「XL_4R_G ゴルフ 13.01」をダブルクリックして<XL_4R_G ゴルフ Add-inPG>—<グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm>を右クリックし<プロパティ>をクリックします。

5) 「図 9 セキュリティ」が表示します。

6) 同図の①「許可する」にチェックを入れて②の<OK>を押します。添付の「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm」など拡張子が「.xlsm」のファイルも同様に「セキュリティーチェック」が必要です。

※ その他注意事項：

「C:\Users\ユーザー名\OneDrive」フォルダなどに配布の「XL_4R_G ゴルフ 13.01」を保存された場合は配布の添付のインストーラプログラムがクラウドを参照して次項で説明のインストールができない事態がありましたのでそのような場合は「(5)3」項で説明のフォルダに手動でインストールする必要がありますのでご注意ください。



図 9 セキュリティ

(3) インストール・アンインストール

解凍したフォルダ<XL_4R_G ゴルフ 13.01>—<XL_4R_G ゴルフ Add-inPG> フォルダを開いて「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を開くと、「図 10 保護されたビュー」のように恐ろしいメッセージを表示します。(マクロが含まれている場合 Excel2010 以降のお決まりごとです。Excel2010 以降のバージョンでは同じように表示し、この図は Excel2016 の場合になります)



図 10 保護されたビュー

表示している赤枠の部分は「保護ビュー 注意—インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がなければ、保護ビューのままにしておくことをお勧めします。」とあります。

<編集を有効にする>をクリックしないとインストールできないので押してください。電子メールに添付したファイルにマクロが含まれている場合、受信者がそのファイルを開くとこのようなメッセージを表示するのでご存知の方も多いと思います。

次項でもまたセキュリティの関係が表示します。



図 11 コンテンツの有効化

(4) コンテンツの有効化

1) 「図 11 コンテンツの有効化」の図が表示します。

2) 同図の「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

(5) インストール

1) 既にお気付きと思いますが、ファイルを開いた場合は画面に注意書きがあります。

「注意！本プログラムは処理を終了後、自動的に Excel を閉じて Windows の画面に戻ります！他のブックを開いている場合はキャンセルして、すべてを閉じた上で再度開いてください。」

とあるとおり、複数のブックを開いている場合は事前に他のブックを閉じて本プログラムだけを開いてください。

2) 「図 12 インストール」の図が表示しています。

3) インストールされるフォルダは次になります。

「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」になります。

4) 「図 12 インストール」の図の<インストール>をクリックしてください。



図 12 インストール

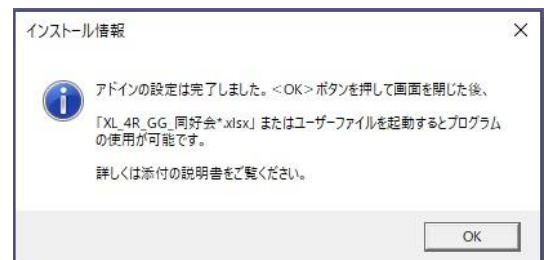


図 13 インストール完了

5) インストールが完了すると「図 13 インストール完了」の図が開くので<OK>を押すとすべて自動で閉じて Windows 画面に戻ります。

6) 操作説明は「4 「グラウンドゴルフ集計サンプ」の使用法」で説明していますが、「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開くと「図 17 グラウンドゴルフタブ」の図を表示して使用が可能になります。

7) 次にアンインストールの説明をします。

(6) アンインストール

1) 使用していた Excel ファイルをすべて閉じ、次に「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を開くと「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」がインストール済みの場合は自動的に「図 14 アンインストール」の図が開きます。

2) 画面上の「注意！」書きの内容のように、他のファイルがすべて閉じられている場合は<削除>を押してください。

3) 「図 15 アンインストール完了」の図が表示して<OK>をクリックするとアンインストールが終了し Excel が自動的に閉じて Windows の画面に戻ります。

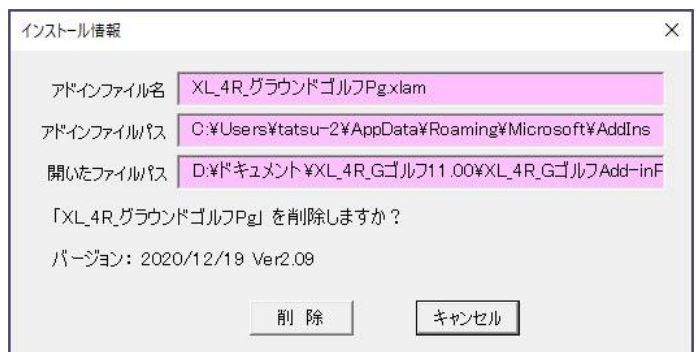


図 14 アンインストール

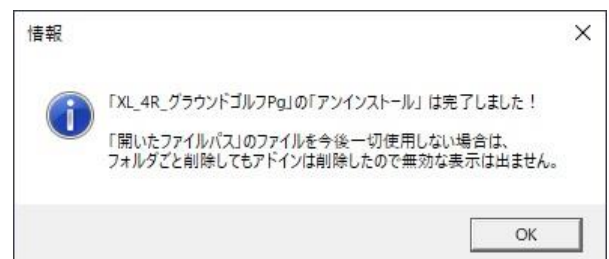


図 15 アンインストール完了

- 4) 「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」 にインストールしていた「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」はアンインストールした場合は削除します。

(7) 新バージョンに更新する場合

これまでにバージョン Ver9. 01 以降をご使用の場合は以下のとおりです。それ以前のバージョンについては期間もかなり経つので省略します。

- 1) 事前に「(2) インストール前の注意事項 (重要)」を実行しないとインストールできないので実行してください
- 2) 「XL_4R_G ゴルフ」を使用していた場合は、解凍してできた「XL_4R_G ゴルフ 13. 01」をフォルダごとドキュメント等に保存してください。
- 3) 同フォルダ内の<XL_4R_G ゴルフ 13. 01>—<XL_4R_G ゴルフ Add-inPG>—<グラウンドゴルフインストール・アンインストール. xlsx>をダブルクリックします。
- 4) 「図 14 アンインストール」が表示するので<削除>をクリックしてください。
- 5) アンインストールが終了すると「図 15 アンインストール完了」が表示するので<OK>を押してください。Excel 画面は自動で閉じます。
- 6) 続けて「グラウンドゴルフインストール・アンインストール. xlsx」をクリックします。
- 7) 「図 12 インストール」が表示するので<インストール>をクリックしてください。
- 8) インストールが終了して「図 13 インストール完了」が表示するので<OK>を押してください。
- 9) 以上で新バージョンインストールは完了するのでこれまで使用していた試合ファイルを起動してバージョン番号が「XL_4R_G ゴルフ 13. 01」になっていることを確認してください。
- 10) 「XL_4R_G ゴルフ 13. 01」より以前に使用していたフォルダは削除して構いません。

(8) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方

- 1) 「図 16 ユーザー用フォルダの作り方」の図の上側は解凍した添付用ファイルのフォルダ構成図です。添付の「XL_4R_G ゴルフ 13. 01」フォルダの中の①「GG 同好会_4R」を同図の下側の図の①のようにそのままドキュメントの中にコピ&ペーストしてください。

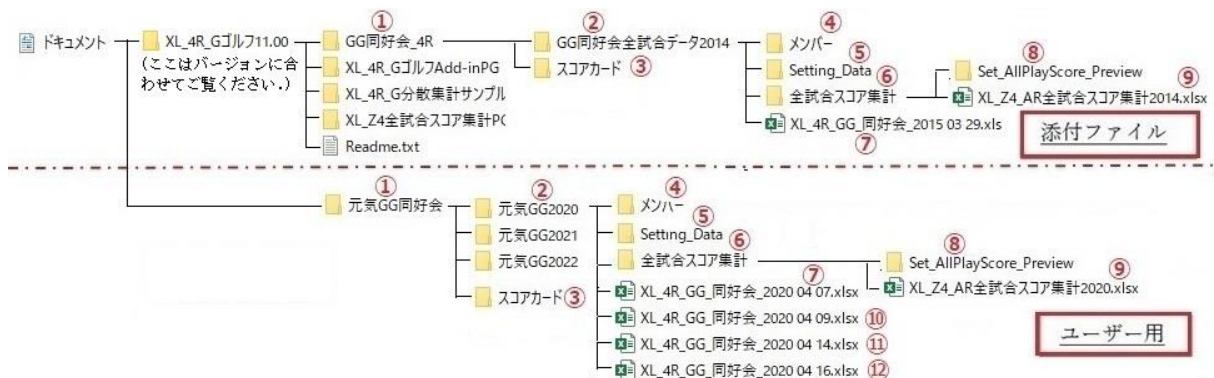


図 16 ユーザー用フォルダの作り方

(フォルダ名は以下の「2)」項で変えます。添付の「XL_4R_G ゴルフ 13. 01」フォルダはそのまま残してください) 上下の図は赤丸の番号は同じですから比較するとわかるよう

に下の図は以下の「2)」項でコピーした際に名前を少し変えてありますが番号で見ると対応はわかると思います。フォルダとファイルの配置については同図のようにしないとプログラムの中からファイルを選択する場合に操作に手間がかかる上に設定用のファイルには動作できないものもあるためこのフォルダ構成としてください。

- 2) 前項でコピーした下側の図のように「元気 GG」をユーザーがプレーをされる名前に変更してください。②は年度ごとの西暦でフォルダをわけます。ユーザー用のフォルダ名で③、④、⑤、⑥、⑧、は変更してはいけません。ファイル名については先頭に「XL-4R」、「XL-Z4」が付く⑦、⑨、のファイルはこれらの文字列を取り除くことはできないので規定どおりに（規定は「※3」、「※4」で説明しています）ユーザー用の試合名を付けてください。但し年号だけ変えるだけでも構いません。

本説明書ではユーザーがフォルダ名やファイル名をどのような名前にしたのか、わかりませんので本項以降は「図 16 ユーザー用フォルダの作り方」の下側の図の名前で記述しますので、ユーザーが付けられた名前と置き換えて解釈してください。

- 3) 新規の場合、下側の図の⑦は上の図の⑦から変更した「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」があり波線の部分をユーザー用の試合名に変更できますが、日付だけの変更でも構いません。このファイルから後述する「4 (3) ユーザー用第1回目の競技集計用ファイルを作る」の項でユーザー用の試合記録用データファイルに変更できます。日付の部分は最初に試合した日として、西暦、月、日についてはこの例の場合半角スペースにしていますが、アンダーバーでも構いません。ドットは拡張子のドットと区別ができないのでだめです。②の「元気 GG2021」、「元気 GG2022」と⑩～⑫は新規の場合の場合は関係がありません。試合をするたびに増加して行く競技用のファイルです。年度が替わった時、また試合回数が増えた時の例ですからここでは無視してください。
- 4) ⑤の「Setting_Data」フォルダがありメンバーシートの「グラウンドゴルフ」タブのメンバー右クリック入力の実行により自動で作る設定用の「Standard_Default.ini」ファイルがあります。
- 5) ⑥の「全試合スコア集計」フォルダ、その中に⑧の「Set_AllPlayScore_Preview」と⑨があり XL_Z4_元気 GG 全試合スコア集計 2020.xlsx があり波線の部分をユーザー用の集計名に変更できますが、西暦だけの変更でも構いません。使い方については添付の別の説明書「XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V**.pdf」で説明しています。⑧の「Set_AllPlayScore_Preview」は「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020.xlsx」を実行する場合に自動で作る印刷設定用データ（「※5」で示す）4 個のファイルが入ります。
- 6) 試合データその他の設定は以下の「4」項の説明を基にユーザー用に設定して下さい。

4 「グラウンドゴルフ集計サンプ」の使用方法

このプログラムに添付した「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」ファイルは説明用サンプルですが後述する「(3)ユーザー用第1回目の競技集計用ファイルを作る」でも使用します。この項では前項「3 (5) インストール」の操作は既に済んでいるものとして記述します。

(1) 本プログラム専用のグラウンドゴルフタブについて

- 1) 「図 7 配布ファイルの内容」図を参考に「※3」印の添付ファイルの「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開いてください。
- 2) 前記の「3 (3)」のインストールが成功した場合は「図 17 グラウンドゴルフタブ」の赤枠内の「グラウンドゴルフ」タブを表示します。この図の場合は「毎回入力データ」シートのコマンド（アイコン）を表示しています。



図 17 グラウンドゴルフタブ

(2) 新しく競技用のデータを格納するフォルダとファイル

競技を新規に開始する場合または年度更新の場合は新しいフォルダと競技の集計用データファイルを作る必要があり以下の説明を参考に最初にフォルダを作ってください。

- 1) 既にドキュメントの中には前記「3 (8)2)」と「3 (8)3)」項でユーザー用の名前に変更した元気 GG2020 フォルダの中には「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」ができています。はずです。（年度が古くて申し訳ないのですが作り変えが大変なのでご了承ください）

例： ¥ドキュメント¥元気 GG 同好会¥元気 GG2020¥XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx
（¥はフォルダです。「図 16 ユーザー用フォルダの作り方」の図を参照。上記の名前は「元気 GG」ですがユーザーに合う名前に置き換えてください。本説明書ではユーザーがフォルダ名やファイル名をどのような名前にしたのか、わかりませんので「図 18 ユーザー用フォルダ構成」の図の名前で記述しますので、ユーザーが付けられた名前と置き換えて解釈してください。）

- 2) 年度更新の場合は前年度のフォルダを丸ごとコピーして新年度の名前に修正しフォルダの中の最後の試合データを1個だけ残して他の試合日は削除し、同時に年度名を新年度に修正するだけです。⑥の「全試合スコア集計」フォルダの中の⑨の「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020.xlsx」データは新年度にファイル名を変えるだけです。

他に「メンバー」フォルダ内の「同好会用メンバー.xlsx」、「大大会用メンバー.xlsx」、スコアカードフォルダ内の「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」ファイルのデータも「(14)スコアカードの利用方法」項で使い方の説明をしています。

(3) ユーザー用第1回目の競技集計用ファイルを作る

- 1) 次の「図 18 ユーザー用フォルダ構成」は前記「3 (8) ユーザー用の試合集計用フォルダ

の作り方」の項の「[図 16 ユーザー用フォルダの作り方](#)」図で掲載した下側の図と同じ「ユーザー用」のフォルダ構成です。

2) 最初の試合日の⑦の「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07. xlsx」を開いてください。



図 18 ユーザー用フォルダ構成

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
1	グラウンド・ゴルフデータ全打数表											試合打切	4								
2	競技大会: 2015年03月29日(日) グラウンドゴルフ同好会																				
3	No	GN	Start Hole	氏 名	1	2	3	4	5	6	7	8	実打	H1	2打	3打	実打計	H1計	2打計	3打計	合計
4					3	3	2	3	3	4	2	3	23		2	5					
5					3	3	2	3	4	3	2	3	23		2	5					
6	1	1	1	川岡 秀雄	3	3	3	4	1	2	3	23		1	1	4	85	3	9	16	76
7					2	2	2	3	3	1	1	2	16		2	4	2				

図 19 日付と大会名の変更

3) 「図 19 日付と大会名の変更」の図が開きます。

4) 新規の場合は前「3 (8)3」項で記述していますが、下側の図の⑦は上の図の⑦から変更しファイル名の日付を変更した「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07. xlsx」ですが、それを開いたシートの中を見ると赤枠の部分にファイル名を変更する前の日付 2015 年 03 月 29 日がそのまま残っているので次のようにして新規開始または更新日の日付に変更します。

5) 「毎回入力データ」シートから<日付競技大会名>をクリックしてください。（「集計入力データ」シートから開く説明は同様のため省略します）

6) 「図 20 日付と競技大会名の入力」の図が開きます。

7) ①「西暦年月日」は、ご使用中の PC の右下「日付と時刻」の「日付」を自動で表示します。「図 19 日付と大会名の変更」は日付 2015 年 03 月 29 日ですが、前「3

図 20 日付と競技大会名の入力

(8)3」項で説明のように、コピーしたファイル名を「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07. xlsx」に変えて起動しています。試合をした日も仮定して同じの 2020 年 04 月 07 日にこの集計ファイルを開いた場合に、<保存>を押した場合は「図 21 上書き保存の確認」の図のダイアログが表示するので<OK>を押すと上書き保存をします。（大会名が同じである場合は修正の必要はなし）

8) 開いたファイル名が「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」で日付も「図 19 日付と大会名の変更」の図のように 2015 年 03 月 29 日

図 21 上書き保存の確認

で試合日が、①の「西暦年月日」2020年04月07日のように日付が相互で違う場合に、③の<保存>を押すと「図 19 日付と大会名の変更」の図の「毎回入力データ」シートの赤枠内の日付は①に表示の日付で<保存>を押すと①の「新規ファイル名を作る」チェックが「ON」の場合に、「図 22 日付を変えて競技用ファイルを作る」を表示して<OK>を押すと、事前に開いた「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」と同じフォルダ内に「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」が作られます。どんな場合であっても①の日付で「C2」セルに上書き保存します。②の大会名も「E2」セルに上書き保存します。この場合フォルダ内には元のファイルが残っています。その場合<参照 2>を押すとフォルダが開くので「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を削除してください。（「新規ファイル名を作る」チェックが「OFF」の場合は後から手動で<ファイル>-<上書き保存>の操作する目的ですからファイル保存はしません）

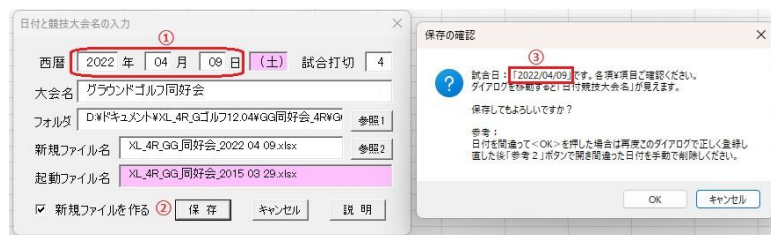


図 22 日付を変えて競技用ファイルを作る

- 9) 「図 19 日付と大会名の変更」図のように開いたファイルが試合日ではない日に開いていて、図の①の「新規ファイル名を作る」チェックが「ON」の場合、「図 23 日付を誤って入力し保存した場合」に③で日付を表示していますが、うっかり②の<保存>を押して「XL_4R_GG_同好会_2020 04 08.xlsx」をファイル保存したことに気付いた場合は、次の「10)」項のようにします。
- 10) その場合、再度①の日付を正しく修正し直して<保存>を押すと先ほど表示していた「XL_4R_GG_同好会_2020 04 08.xlsx」が閉じるので次の「11)」項で説明の削除する操作が可能になります。（画面に表示しているのは誤った日付が開いているので閉じて切離さないで<参照 2>からは削除できないので先に正しい日付に修正して保存するのです）
- 11) 「9)」項で誤って保存をしたので「XL_4R_GG_同好会_2020 04 08.xlsx」を削除する必要があり再度<日付競技大会名>をクリックしてください。

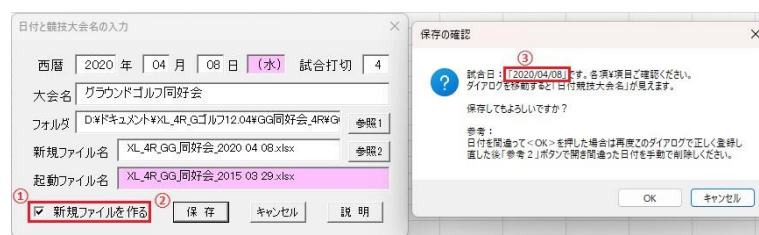


図 23 日付を誤って入力し保存した場合

- 12) 「図 20 日付と競技大会名の入力」の図が開くので<参照 2>をクリックします。
- 13) 開いたフォルダの中に「XL_4R_GG_同好会_2020 04 08.xlsx」があるので同ファイルの上で右クリックして<削除(D)>をクリックして削除してください。フォルダの中に試合をしていない過去のファイルがあると「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020.xlsx」の「全

スコアデータ取り込み」や「自動追加取り込み」を実行した場合に関係ない試合を集計して計算結果に間違いが出ます。

(4) 2回目以降の競技集計用ファイルを作る

- 1) Excel をすべて閉じてください。
- 2) エクスプローラーを開き前項で作ったドキュメントの中の「¥元気 GG 同好会 ¥元気 GG2020」フォルダ内にある第1回目の試合データである「XL_4R 元気 GG_2020 04 07.xlsx」をダブルクリックして開いてください。
- 3) 「毎回入力データ」シートから<日付競技大会名>をクリックしてください。
- 4) 「図 22 日付を変えて競技用ファイルを作る」の図の左側が開きます。
- 5) ①の「西暦年月日」は当日の日付（パソコンの今日の日付）を表示するので試合日、この説明の中では試合日が開いた日付と同じ 2020/04/09 日あったとした場合、そのまま「Enter」キーを押します。日付が違う場合は①の日付を修正してください
- 6) ②の<保存>を押してください。
- 7) 同図の右側の図が表示するので③の「2020/04/09」を確認し<OK>を押します。
- 8) 「図 24 2回目競技集計用ファイル追加」の図のように「¥ドキュメント ¥元気 GG 同好会 ¥元気 GG2020」フォルダ内に赤枠内で示す「XL_4R_GG_同好会_2020 04 09.xlsx」ファイルが追加されました。



図 24 2回目競技集計用ファイル追加

- 9) 「図 22 日付を変えて競技用ファイルを作る」の図の右側が表示する理由はこのように前記「5」項で「西暦年月日」のボックスに「2020/04/09」を入力しますが、この日付はパソコンで本日の日付を表示するの

で「(3)9」で記述したように日付を誤って<保存>を押すだけの簡単な操作で競技集計用ファイルが出来てしまいます。その場合は再度①の日付を正しい日付に修正して<保存>を押してください。「(3)12」項で記述したように<参考 2>をクリックすると「元気 GG2020」フォルダ内に誤って作った日付のデータファイルがあるので同ファイルの上で右クリックして<削除(D)>をクリックして削除してください。

参考： 同好会などで繰り返し試合をする場合は「¥ドキュメント ¥元気 GG 同好会 ¥元気 GG2020」フォルダの中に試合で集計した「XL_4R 元気 GG_yyyy mm dd.xlsx」ファイル（yyyy mm dd は試合日）を「図 25 GG 同好会全試合データ 2014 フォルダの中」の図のようにまとめて保存します。「220」や「8 データベース化した本プログラムの使い方要約」などのデータベース化して応用する場合にも便利です。このサンプルは添付の 1 試合を含めて 70 試合あり表紙の URL ホームページからダウンロードできます。）

(5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む

実際の操作の順番は「(6) 「メンバー編集」シートで競技者順位を」の項が先なのですが、同項をわかり易くするために本項の説明を優先して記述します。

「メンバー編集」シートの「No」「GN」「Start Hole」「氏名」などを手入力しないで一括取

り込みできます。

「メンバー編集」シートでメンバーの組み合わせを構成する場合も文字列を手入力するのではなく右クリックするだけで氏名を「D」列に書き出します。(氏名書き出しの説明は次項の「(6)「メンバー編集」シートで競技者順位を」で説明しています)

- 1) 添付ファイルの「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」ファイルを開いてください。
- 2) 「毎回入力データ」シートが表示するので<氏名の取り込み>をクリックします。
- 3) 「メンバー編集」シートに自動的に移動するので「図 26 メンバー取り込み」の図が表示します。
- 4) 「全行取り込み」コマンドボタンを選択して<取り込み>を押すと「メンバー編集」シートのデータ「A1:D30」のデータをすべてを取り込みます。
 - a. 「範囲指定取り込み」は「メンバー編集」シートの氏名の列を垂直にドラッグした分だけ取り込みます。
 - b. 「行末へ取り込み」チェックが「OFF」の場合は取り込み元のシートをすべてクリアして取り込みます。(デフォルトでは「OFF」です)
 - c. 「行末へ取り込み」チェック「ON」の場合はデータ取り込み元シートをクリアしないで行末へ追加取込します。



図 25 GG 同好会全試合データ
2014 フォルダの中

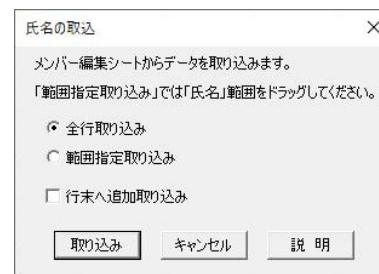


図 26 メンバー取り込み

(6)「メンバー編集」シートで競技者順位を編集

前記「(5)」項では氏名の取り込みをグループ順でかつプレーの順(打順)に取り込みましたがこの入力作業を手動でしていたのでは手間が掛かって仕方ありません。それをわかっていただくために説明順を入れ替えました。簡単入力する操作は以下のとおりです。「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートへ「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」を手入力する作業を省略するために、最初に「メンバー編集」シートで競技者順を編集します。

同好会のメンバーは決まっているのですから一度だけ全員の氏名を入力すれば増減メンバーの変更だけを更新していつまでも使うことができます。

「メンバー編集」シートを表示してください。

「グラウンドゴルフ」タブの「メンバー右クリック入力」をクリックすると「図 27 メンバー右クリック入力」の図を表示します。

スコアカードを見て記入されている氏名と一致する氏名の上を右クリックするだけでD列に順番に配列できま



図 27 メンバー右クリック入力

す。A 列は No、B 列は GN（プレーするグループ）、C 列は Start Hole（スタートするホール番号）で下記「1）」項で説明しています。氏名の転送を実際に試して見る場合は次のようにしてください。

「メンバー編集」シートは既に入力済みですが、「F」列の氏名の上を右クリックすると氏名を「D」列に書き出します。「図 27 メンバー右クリック入力」の図で「書き出し後消去」をチェック「OFF」にして「F」列の 6 名の氏名を残してあり操作の試しができます。すべてのメンバーを書き出していますので、「D25 : D30」をドラッグし「Delete」キーで氏名を削除し、「F」列の氏名を右クリックすると書き出しの試しが以下でできます。

（「メンバー編集」シートはパターンを自由に編集することができそのサンプルは次項の「(11)「メンバー編集」シートの取り込み」を実行すると「メンバー」フォルダから「大会用メンバー.xlsx」「中大会用メンバー.xlsx」「同好会用メンバー30.xlsx」「同好会用メンバー15.xlsx」などの「メンバー編集」シートを「メンバー」フォルダから取り込むことができます。）

一般の「同好会用メンバー」の編集操作は次のとおりです。

- 1) 「メンバー編集」シートを開いてください。

操作の前に概要説明をします。このシートでは A～D 列にタイトルがありません。「毎回入力データ」シートのタイトルと同じ順ですが以下に記載しておきます。

セル A 列には「No」、B 列に「GN」、C 列は「Start Hole」、D 列は「氏名」を縦方向 1 列に配列する必要があります。「毎回入力データ」シートや「集計入力データ」シートにメンバー構成を取り込む場合は A～D の 4 列を取り込みます。但し、「集計入力データ」シートに取り込む場合は「Start Hole」の列は不要なので空白としてください。

試しをする場合は「A:D」列を選択して「Delete」キーを押してすべての列を消去してください。

- 2) 「グラウンドゴルフ」タブの＜メンバー右クリック入力＞をクリックするかまたは「A1」セルを右クリックすると「図 27 メンバー右クリック入力」の図が開きます。
- 3) タイトルバーをドラッグして邪魔にならない位置に移動しダイアログが表示したままの状態で使用します。
- 4) 「D25 : D30」をドラッグし「Delete」キーで氏名を削除してください。
- 5) F 列で安田 由紀を右クリックしてください。するとセル D16 に氏名が入力します。このようにスコアカードの氏名順に F 列の氏名を次々と D 列に書き加えて行きます。間違った場合はダイアログボックスの「元に戻す」コマンドボタンを押せば元の位置に戻ります。（「元に戻す」ボタンは氏名を右クリックした時点が表示します）
- 6) 「A」列は「No」の列です。現在 1～30 まで記入してありますがデータを転送する場合の最終行計算は「氏名」の行で調査しますから大目に書いてあっても構いません。
- 7) 「B」列は「GN」です。6 人以下が 1 グループですがこの表では番号で構成します。（地域名やアルファベット名などの場合はグループ名を番号に置き換えてください。）
- 8) 「C」列は「Start Hole」（スタートホール）です。GN に合わせて「メンバー編集」シートの例のように 1 グループごとに 1（ホール）から 8 までの番号を振ります。

- 「集計入力データ」シートを使用して集計する場合は不要のため空列にしてください。
- 9) 「D」列は「氏名」の列です。毎試合ごとの氏名は「姓」と「名」の間のスペースは全角、半角を混用しないで同じでなければ「XL_Z4_AR 全試合スコア集計」にデータを渡す場合、月の中途中で同じ氏名が複数できてしまいます。
 - 10) 「F」列は基本とする氏名で、次の「11」項の「I2」セルから「I」列末尾の行までドラッグして、選択範囲の枠を選択し Ctrl キーを押しながら「F 列」へ貼り付けます。
(「[図 27 メンバー右クリック入力](#)」の図のダイアログボックスが表示しているとコピーするための右クリックが効きません。「メンバー右クリック入力」ダイアログを閉じれば右クリックでコピーができます)
 - 11) 「H:I」列はこのプログラムを使用開始する時に同好会のメンバーを全て記入して五十音順に並べ替えて置きメンバーに変更が有った場合に修正して並べ替えて置きます。
 - 12) 「書き出し後消去」のチェックボックスは「ON」で使うと「F」列で右クリックした場合に氏名が消去するので残りの氏名が少しずつ少なくなり非常に探し易くなります。
 - 13) 次回の試合メンバーを構成する時は「I」列を「F」列にコピーするだけで済みます。右クリックして氏名を書き出す前にスコアカードを見て「B」列の「GN」、「C」列の「Start Hole」を先に入力しておきその後、D 列に「氏名」を書き出す方が良いでしょう。
但し Ver11.00 から「GN」、「Start Hole」を自動で書き出しするツールを作り人数はグループごとにアンバランスでも編集でき「[\(8\) グループ_STH_氏名編集](#)」の項で説明しています。「[\(10\) スタートホール番号記入](#)」については、1 グループの人数が固定です。
 - 14) 「[図 27 メンバー右クリック入力](#)」の図のダイアログと同じように設定した場合は同好会などの比較的人数が少ない場合です。「F」列の氏名を右クリックすると「氏名」だけが「D」列に書き出され F 列の氏名は空白になります。数十人もいる場合はスタートホールの番号を「[\(10\) スタートホール番号記入](#)」を使用して一括編集ができます。
 - 15) 「設定保存」を押すとプログラムが自動でフォルダ名「Setting_Data」の中に「Standard_Default.ini」を作り「メンバー右クリック入力」ダイアログに設定した状態を保存できます。
 - 16) メンバー編集シートの入力が済んだ場合は前項で説明の「毎回入力データ」シートに移動して「[\(5\)2](#)」～「[\(5\)4](#)」を「毎回入力データ」シートに氏名データを取り込む処理を実行してください。

(7) グループ_スタート編集

- 1 グループ 6 人以下でも自由に No、GN、Start Hole を設定できます。「グラウンドゴルフ」タブの「メンバー右クリック入力」をクリックすると「[図 27 メンバー右クリック入力](#)」の図を表示してスコアカードに記載の氏名を D 列に配列し後、以下を実行することで A 列 No、B 列 GN、C 列 Start Hole を一度に自動設定できます。人数が 6 人以下にも対応している点が特徴です。
- 1) 「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
- 2) 「メンバー編集」シートを選択してください。

- 3) 「図 28 A～C 列へ 1 グループ 6 人以下でも自由に設定」の図の「L」～「W」列で設定しますが「N」列のスタートホールは数字の入力や消去してはいけません。A コートの編集した値が A～C 列に表示しています。「K1」セルには「縦_3Step」の文字列があ

	A	B	C	D	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
1	1	1	1	川岡 秀雄	縦_3Step	Aコート			Bコート			Cコート			Dコート		
2	2	1	1	伊藤 紀江		GN	人数	ST	GN	人数	ST	GN	人数	ST	GN	人数	ST
3	3	1	1	瀬山 秋子		GN	人数	H	GN	人数	H	GN	人数	H	GN	人数	H
4	4	1	1	青木 真理子		1	6	1			1			1			1
5	5	1	1	金子 芳美													
6	6	1	1	北村 千鶴子				2			2			2			2
7	7	2	3	長谷川 悦雄													
8	8	2	3	木村 素子		2	6	3			3			3			3
9	9	2	3	小泉 智恵子													
10	10	2	3	小林 昭子				4			4			4			4
11	11	2	3	佐々木 英明		3	6										
12	12	2	3	澤辺 寿子				5			5			5			5
13	13	3	5	神宮司 理沙													
14	14	3	5	山住 政人				6			6			6			6
15	15	3	5	谷口 浜子													
16	16	3	5	辻井 美津子		4	6	7			7			7			7
17	17	3	5	内山 恵美子													
18	18	3	5	中川 由加里		5	6	8			8			8			8
19	19	4	7	中山 孝実													

図 28 A～C 列へ 1 グループ 6 人以下でも自由に設定

りこの文字列を検索してプログラムが処理を実行するので消去してはいけません。「I」列と「J」列の間には列を追加できますが、右方向には列の追加はきません。「A コート」～「D コート」の文字は消しても構いません。A コート 2 面などの変更は自由です。表は 3 列単位で表の追加などはできません。(A～D コートで 192 人までプレーできるので十分と思います。)

表より下に文字列が有ってはいけません。表の最終行が何行なのかを Excel の最終行からプログラムが調査するからです。

- 4) スタートホール(ST H)の上段と下段にセルが分割しているのは上段 3 人、下段 3 人と分ける必要がある「図 31 大大会用メンバーの書き出し」の図のような自治会別にそれぞれ 3 人の組み合わせをする場合には下段のセルに入力します。

グループ_スタート編集

A～Dコートの設定をB、C列に編集して書き出します。

A～C列クリア

書き出し

キャンセル

図 29 グループ_スタート編集

- 5) A コートの列で 1 番ホール上段の「GN」を 1、「人数」4 人とし 2 番ホール上段の GN を 2、人数を 3 人などとホールごとの人数を変えることもできます。
- 6) データを設定した後に、「グループ_スタート編集」をクリックすると「図 29 グループ_スタート編集」が表示します。
- 7) 「A-C 列クリア」： 同図の A-C 列に既に入力されている文字列をクリアします。
- 8) 「書き出し」： A 列 No、B 列 GN、C 列 Start Hole を一度に自動設定します。
- 9) L 列「GN」と M 列「人数」どちらかが空白セルの場合は「A～C」列に書き出しをしません。従って配布した時の表のように L 列「GN」の文字列を何時も残しておいて M 列「人数」だけを消去したり、入力すればよいことになります。
- 10) 「図 30 人数入力例」の図をご覧ください。少人数でプレーをする場合、①の合計は 11 人の場合②の部分に人数が入力されているので当然「A～C」列に書き出しますが「A12 : C19」セルをドラッグして「Delete」すればよいのです。(もちろん②の×の部分

L	M	N	L	M	N	L	M	N
Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート
GN	人数	ST	GN	人数	ST	GN	人数	ST
GN	人数	H	GN	人数	H	GN	人数	H
1	4	1	1		1	1	3	1
	①	2			2	4	3	
2	4	3	2	5	3	7	3	2
		4			4	10	3	
3	3	5	3	4	5	13	3	3
		6			6	16	3	
4	②	6	4	4	7	19	3	4
		7			7	1	3	
5	6	8	5		8	4	3	5
						7	3	
						10	3	6
						13	3	
						16	3	7
						19	3	
						2	3	8
						5	3	

図 30 人数入力例

分の M 列の人数を消して「書き出し」を押してもよいのですがプログラムの処理の状況を説明しています) 同図の中央の③の場合はトップのホール的人数を消している例です。同図の右端の図は「図 31 大会用メンバーの書き出し」の図のチームを省略していますが、大会用の設定もできますがやはり大会用の表で作る方が簡単です。この表の目的は縦方向に読み出す表として縦列ごとに A コート、隣列が B コートのようになっています。上段 3 人と下段 3 人を自治会ごとに分けるなどに考えれば、多人数に利用できます。下段を空白にすれば列ごとに A チーム、次の列が B チーム、次 C、D のようになります。

- 11) 簡単なので実際に数値を入力して試してみてください。試した場合は<上書き保存>はしなければ何を試しても大丈夫で、原本の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を壊すことはありません。

(8) グループ_STH_氏名編集「大会用メンバー」の編集

大会、中大会に対応しています。設定は簡単です。

- 1) XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
- 2) 「メンバー編集」シートから<メンバーシート取り込み>-<ファイルを開く>-<大会用メンバー.xlsx>を選択して<開く>をクリックしてください。
- 3) 「メンバー編集シート」の取り込み確認」を表示するので<取り込み>を押してください。同ファイルを「メンバー編集」シートに取り込みます。
- 4) 「図 31 大会用メンバーの書き出し」の図が取り込まれます。
- 5) 「I」～「AJ」列で設定しますが「GN」「Start Hole」(以後 ST_H とします) 列は各列とも自動で設定できます。「氏名」「自治会名」と共に手入力しても構いません。「G1」セルには「横に 3 行単位行を最終行まで繰り返し」の文字列がありこの文字列を検索してプログラムが処理を実行するので消去してはいけません。「H」列の文字は合っても無くても関係ありません。「E」列と「F」列の間には列を追加できますが、右方向には列の追加はできません。表は 4 列単位となっており最終列より右に 4 列単位で追加が可能です。

	H	I	J	K	L	M	N	O	P	AG	AH	AI	AJ
1													
2		1	1	青木 真理子	あいうえ自治会	4	1	笠原 浩二	かきくけ自治会	19	4	石上 利雅	まみむめ自治会
3		1	1	秋丘 恵三 ①	あいうえ自治会	4	1	梶山 明人 ②	かきくけ自治会	19	4	丹羽 明 ⑦	まみむめ自治会
4		1	1	浅岡 智宏	あいうえ自治会	4	1	加藤 一史	かきくけ自治会	19	4	内木 敦子	まみむめ自治会
5	Aチーム												
6		1	4	阿戸 葉子	あいうえ自治会	4	5	金井 和義	かきくけ自治会	19	7	川田 文雄	まみむめ自治会
7		1	4	安西 治善 ⑧	あいうえ自治会	4	5	金子 芳美	かきくけ自治会	19	7	菅田 幸信	まみむめ自治会
8		1	4	石宗 和歌子	あいうえ自治会	4	5	香山 和修	かきくけ自治会	19	7	中村 隆弘	まみむめ自治会
9													
10													
11		2	8	伊藤 紀江	あいうえ自治会	5	8	川岡 秀雄	かきくけ自治会	20	3	渡島 賢一	まみむめ自治会
12													
20		3	7	内山 恵美子	あいうえ自治会	6	7	黒江 文雄	かきくけ自治会	21	2	藤町 慎二	まみむめ自治会
21		3	7	榎本 大三	あいうえ自治会	6	7	小泉 智亜子	かきくけ自治会	21	2	細井 彰宏	まみむめ自治会
22		3	7	岡林 英秋	あいうえ自治会	6	7	河野 信吉	かきくけ自治会	21	2	上西 巖	まみむめ自治会
23	Cチーム												
24		3	2	沖田 健助	あいうえ自治会	6	3	小坂 正彦	かきくけ自治会	21	5	米崎 和行	まみむめ自治会
25		3	2	海田 武彦	あいうえ自治会	6	3	小林 昭子	かきくけ自治会	21	5	中山 栄子	まみむめ自治会
26		3	2	角田 行男	あいうえ自治会	6	3	近藤 栄子	かきくけ自治会	21	5	佐山 芳伸	まみむめ自治会

図 31 大会用メンバーの書き出し

下方向にも 6 人単位で追加できます。行の空白は有り、または無は自由ですが有った方

がわかり易いかもしれません。

表の下に文字列が有ってはいけません。何ゲームで終わっているかを Excel の最終行から調査するからです。3 行単位で①、②、～⑦、⑧、の順で「ST_H」の番号を振ります。縦に 6 人単位で「GN」番号を振ります。

- 6) 表の 2 行目を最終列迄選択して(処理範囲を示すために必要です)「グラウンドゴルフ」タブの「グループ_STH_氏名編集」をクリックします。

- 7) 「図 32 グループ_STH_氏名編集」の図が表示します。

- 8) 「G1」セルには「横に 3 行単位行を最終行まで繰り返し」を基にコマンドボタンに黒丸が付くのでこの文字列を消してはいけません。下側は別の「中大会用メンバー.xlsx」を使用する場合で「(9)8)」項で説明しています。

- 9) チェックマークは表示していると通りの選択機能です。試しをする場合に作成元に記入する場合は事前に「I : J」の「列ボタン」をドラッグして Delete キーにより削除しておかないと書いたかどうか分かりません。

- 10) 「A-C 列クリア」により消去して「書き出し」ボタンをクリックします。以上です。

(9) グループ_STH_氏名編集「中大会用メンバー」の編集

中大会に対応しています。設定は簡単です。

- 1) XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx を開いてください。
- 2) 「メンバー編集」シートから＜メンバーシート取り込み＞＜ファイルを開く＞＜中大会用メンバー.xlsx＞を選択して＜開く＞をクリックしてください
- 3) 「メンバー編集シートの取り込み確認」を表示するので＜取り込み＞を押してください。同ファイルを「メンバー編集」シートに取り込みます。

	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA
1																				
2	1	1	川岡 秀雄	Aチーム	2	2	長谷川 悦雄	Bチーム	3	3	神宮司 理沙	Cチーム	4	4	中山 孝実	Dチーム	5	5	浅岡 智宏	Eチーム
3	1	1	伊藤 紀江		2	2	木村 素子		3	3	山住 政人		4	4	夏川 智実		5	5	野山 孝一	
4	1	1	瀬山 秋子		2	2	小泉 智亜子		3	3	谷口 浜子		4	4	石宗 和歌子		5	5	松山 義之	
5																				
6	1	1	青木 真理子		2	2	小林 昭子		3	3	辻井 美津子		4	4	浜崎 百合子		5	5	安田 由紀	
7	1	1	金子 芳美		2	2	佐々木 英明		3	3	内山 恵美子		4	4	平野 芳子		5	5	山本 秀子	
8	1	1	北村 千鶴子		2	2	澤辺 寿子		3	3	中川 由加里		4	4	藤木 真紀子		5	5	吉岡 由加里	

図 33 中大会用メンバーの書き出し

- 4) 「図 33 中大会用メンバーの書き出し」の図が取り込まれます。

- 5) 「H」～「AA」列で設定しますが「GN」「Start Hole」列は各列とも自動で設定できます。「氏名」「チーム名」と共に手入力しても構いません。チーム名はトップ行だけで構いません。9 行から下に 6 名単位で追加した場合はやはり 6 名のトップの行にチーム名を書いてください。「G1」セルには「縦に 4 列単位を最終列まで繰り返し」の文字列がありこの文字列を検索してプログラムが処理を実行するので消去してはいけません。「E」列と「F」列の間には列を追加できますが、右方向には列の追加はきません。表は 4 列単位となっており最終列より右に 4 列単位で追加が可能です。下方向にも 6 人単位で追加でき

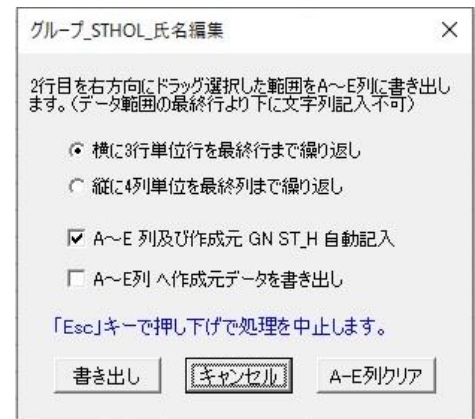


図 32 グループ_STH_氏名編集

ます。行の空白は有り、または無は自由ですが有った方がわかり易いかもしれません。表の下に文字列が有ってはいけません。何ゲームで終わっているかを Excel の最終行から調査するからです。同図の順で「GN」「ST_H」の番号を振ります。縦に 6 人単位で「GN」番号を振ります。下に 6 人追加した場合は縦が優先で次の右の列はその後位置になるように番号を振ります。

- 6) 表の 2 行目を最終列迄選択して(処理範囲を示すために必要です) 「グラウンドゴルフ」タブの「グループ_STH_氏名編集」をクリックします。
- 7) 図 34 グループ_STH_氏名編集」の図が表示します。
- 8) 「G1」セルには「縦に 4 列単位を最終列まで繰り返し」を基にコマンドボタンの下側に黒丸が付くのでこの文字列を消してはいけません。
- 9) チェックマークは表示していると通りの選択機能です。試しをする場合に作成元に記入する場合は事前に「H : I」の「列ボタン」をドラッグして Delete」キーにより削除しておかないと書いたかどうかわかりません。
- 10) 「A-C 列クリア」により消去して「書き出し」ボタンをクリックします。以上です。

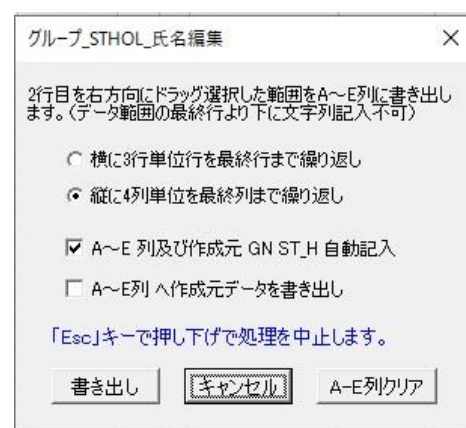


図 34 グループ_STH_氏名編集

(10) スタートホール番号記入

「メンバー編集」シートで人数の多い大会用のメンバーを編集する場合は「メンバー右クリック入力」により「図 27 メンバー右クリック入力」図により書き出し列を 4 に設定して「GN」「空白」「氏名」「自治会名」を一度に書き出します。これらが書き出された「C」列の空白を手で入力することは大変なためプログラム処理により記入できます。

- 1) 「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
- 2) 既に「C」列にスタートホールの番号が振られているので「C : C」 「列ボタン」を範囲選択して「Delete」キーを押して「C」列をすべて消去してください。
- 3) <スタートホール番号記入>をクリックします。
- 4) 図 35 スタートホール番号記入」の図が表示するので実行ボタンを押します。
- 5) 「C」列にスタートホールの番号が振られます。
コンボボックス、ボタン等については説明ボタンを押してご覧ください。通常は同図の表示のとおりです。



図 35 スタートホール番号記入

(11) 「メンバー編集」シートの取り込み

「メンバー」フォルダから「大会用メンバー.xlsx」などのメンバー構成シートと取り込み替えすることができます。

- 1) 「メンバー編集」シート、「毎回入力データ」シート、「集計入力データ」シートの何れかで<メンバーシート取り込み>をクリックします。

2) 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開くので次の「メンバー」ファイルを選択します。(メンバーフォルダの中は次の3種類のメンバー編集シートを格納しています)

1. 「大大会用メンバー.xlsx」
2. 「中大会用メンバー.xlsx」
3. 「同好会用メンバー.xlsx」

上記の何れかのファイル（普通の競技は「同好

会用メンバー.xlsx」です）を選択し＜開く＞ボタンを押すと「図 36 メンバーシート取り込み確認」の図が開くのでファイルの選択は間違いが無いかを確認した上で＜取り込み＞を押してください。

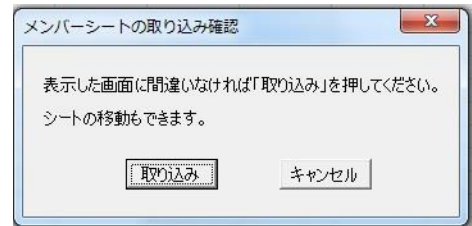


図 36 メンバーシート取り込み確認

(12) 氏名の書き出し

「氏名の書き出し」は「毎回入力データ」、「集計入力データ」シートなど全てのシートから氏名の列を新しいブックに書き出します。名前を付けて適当なフォルダに保存する必要があります。「メンバー編集シート」から「メンバーシート書き出し」を主に使用するのであまり使うことは無いと思います。

(13) メンバーシート書き出し

- 1) 「メンバー編集」シートのバックアップと、「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」の＜氏名の取込＞で年度替わりに使いますがメンバーに変更がなければ使いません。
- 2) 「メンバー編集」シートで「メンバーシート書き出し」をクリックすると「図 37 スコアカードへ転記確認」が表示するので＜OK＞をクリックします。
- 3) メンバーフォルダを開いて「図 38 メンバー書き出し名前を付けて保存ダイアログ」が開きデフォルトで、ファイル名「メンバー書き出し」と表示するので適切な名前を付けて＜保存＞を押してください。

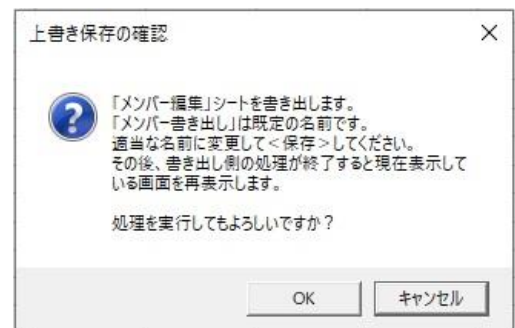


図 37 スコアカードへ転記確認

(14) スコアカードの利用方法

表紙に記載した URL でグラウンドゴルフの頁に本グラウンドゴルフ集計プログラムの入力がし易い試合場で記入するオリジナルの「スコアカード手書き用紙」のファイルがダウンロードできます。ダウンロードして先ず「スコアカードの使い方.txt」をご覧ください。以下は「スコアカード」フォルダの「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」の説明です。

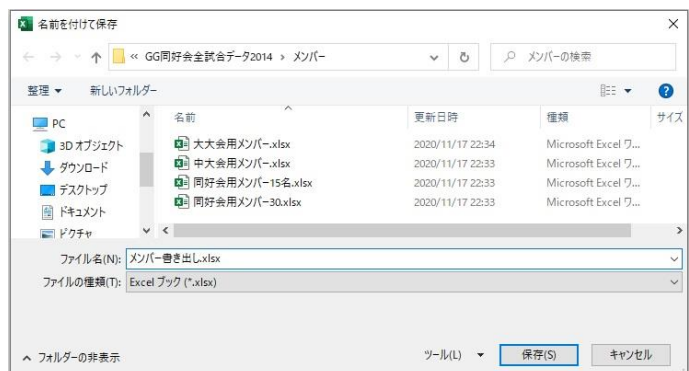


図 38 メンバー書き出し名前を付けて保存ダイアログ

スコアカードの自動編集：

上記の「スコアカード」に「メンバー編集」シートのメンバーを自動編集できます。

「スコアカード」には1枚6人ずつ（6人以下も可能）を「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」ファイルの「メンバー編集」シートで作ったデータをプログラムにより記入でき印刷して大会の時に使用します。試合で記入したものは大会名もメンバー順も同じで、Start Hole も記入でき、「毎回入力データ」シートで直ぐに集計ができます。

◆ 多人数の大会用エコ形スコアカード：

普通とは変わった用紙ですので説明すると用紙の節約のため、1グループ8名が記入できるスコアカードですが8名でプレーするのではなく少人数でプレーする場合は4名1組でプレーする場合上段と下段に2回分の試合が記入でき裏面印刷をして表裏で記入すると1枚で済むためこの表を作っており大変便利です。

「スコアカードの自動編集」操作方法は次のとおりです。

(15) メンバーシートの「同好会用メンバー.xlsx」取り込みの場合：

- 1) 「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
(メンバーが少ないのはWev配布のファイルサイズの関係でご容赦ください。)
- 2) 「メンバー編集」シートをクリックします。以下は「(6) 「メンバー編集」シートで競技者順位を編集」の操作になります。

(16) メンバーシートの「大大会用メンバー.xlsx」取り込みの場合：

- 1) 「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
(メンバーが少ないのはWev配布のファイルサイズの関係でご容赦ください。)
- 2) 「メンバー編集」シートをクリックします。
- 3) <メンバーシート取り込み>をクリックして「メンバー」フォルダを開き「大大会用メンバー.xlsx」をクリックし<開く>ボタンを押します。
- 4) 「メンバーシートの取込確認」が開くので<取り込み>ボタンを押します。
- 5) <スコアカードへ転記>をクリックします。
- 6) 「図 37 スコアカードへ転記確認」ダイアログが開きます。内容を読んで<OK>を押します。
- 7) 「ファイルを開く」ダイアログが開き「スコアカード」フォルダの「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」ファイルが表示しているので同ファイルを選択して<開く>ボタンを押します。
- 8) 「図 39 スコアカードへ転記」の左側の図が開きます。このダイアログでは既に取り込み後のデータと同じものが取り込まれていますが、プログラムが内容を完全にクリアして取り込み替えして実行します。(このプログラムを事前に起動し<表を初期化>を実行して用紙1枚にして保存して置けば判別できます)
- 9) <データ転記>ボタンを押します。
- 10) 「図 39 スコアカードへ転記」の右側の図が開き『転送は成功しました。名前を付けて保存してください。保存が済んだ場合は<キャンセル>を押して閉じてください。データ転送数： nn 個』と表示し取り込まれたことを表示するので内容を読んで<OK>押し

ます。

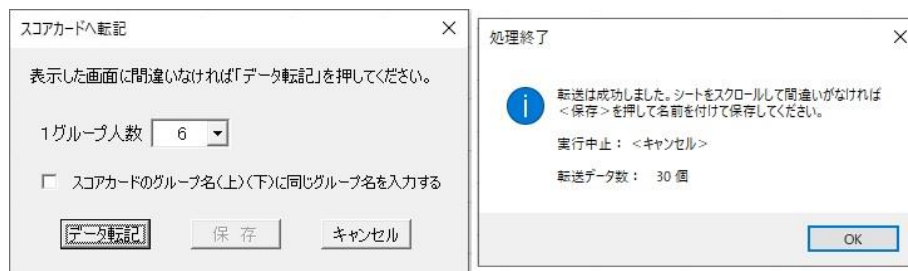


図 39 スコアカードへ転記

11) 「図 40 スコアカードへ転記保存」のダイアログは一部を陰の表示にして継続表示しおり<保存>を押します。

12) ①の「イベント用スコアカード」のフォルダを自動で作成しその中に「図 41 スコアカード保存ダイアログ」が表示しデフォルトのファイル名②は「大会スコアカード」です。適切な名前を付けて③<保存>を押してください。

13) 保存が済めば「以下のファイルを保存しました。～」のメッセージを表示して<OK>を押すと元の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の「メンバー編集」画面に戻ります。

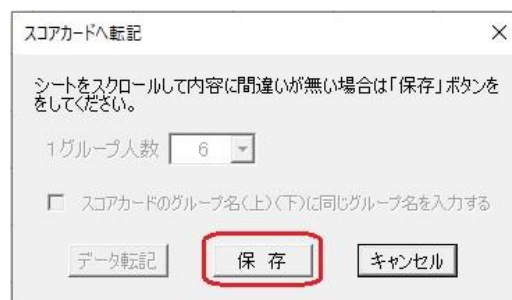


図 40 スコアカードへ転記保存

14) 保存した「イベント用スコアカード」のフォルダ内のファイルはユーザーに合わせて変更の上でご使用ください。

15) 「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を終了して上記で「12)」で保存した「イベント用スコアカード」フォルダ内の名前を変更していない場合のデフォルトのファイル名「メンバー編集.xlsx」を開いた場合、1回目の試合しか表示していません



図 41 スコアカード保存ダイアログ

さんが「図 42 スコアカード」の図のように「スコアカード」タブで赤枠の<日付競技大会名>をクリックして開くと

「図 43 日付と競技大会名の入力」の図が開くので③のラウンドの数値を変えれば何ラウンドでも印刷できます。①は日付、②は大会名の変更ができます。(スコアカードに書き出す場合の大会名は前記「5)<スコアカ



図 42 スコアカード

ードへ転記＞をクリックします。」の操作をした場合は「毎回入力データ」シートの大会名が記入されます。）」

(17) 「毎回入力データ」シートの打数の入力

表紙に記載した URL でグラウンドゴルフの頁に本グラウンドゴルフ集計プログラムの入力しやすい試合場で記入するオリジナルの「スコアカード手書き用紙」のファイルがダウンロードできます。ダウンロードして先ず「スコアカードの使い方.txt」をご覧ください。「(14) スコアカードの利用方法」でも記載しています。

図 43 日付と競技大会名の入力

1) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開いて「毎回入力データ」シートを表示してください。

2) 28 行の「長谷川 悦雄」の上で右クリックしてください。

3) 「図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力」のように表示します。

4) 「毎回入力データ」シートの表は 1 ～8 ホールまで順番です。シートの 28～31 行の E～L 列の打数の並び順で入力するのではなく、スコアカードのスタートホールが 3 番から始まっている場合はその順で入力しないと難しくて間違えて入力します。

図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力

「図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力」の図の①のスタートホールを見ると 3、

4、5、6、7、8、1、2 のようにスタートホール順に「データ入力」ダイアログボックスでスタートホールの番号を入れ替え、入力し易くしています。

5) 「図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力」図の「データ入力」ダイアログボックスで閉じるボタン「図」または<キャンセル>を押してください。

6) 試して見るためには「図 45 Delete キーで打数を消去」の図のように「毎回入力データ」シートのセル

	No	GN	Start Hole	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8
28	7	2	3	長谷川 悦雄								
29												
30												
31												

図 45 Delete キーで打数を消去

「E28」～「L31」をドラッグして「Delete」キーで消去してください。(実際の運用ではプログラムがシートのデータを消去します)

7) 28 行の「長谷川 悦雄」の上で右クリックしてください。

8) 「図 46 データ入力をする直前」の図のように 1R (1 ラウンド) の 3 番ホールでカーソルが点滅しています。(この図ではカーソルは見えませんが…)

9) 「図 47 データ入力ダイアログ 1R データ入力後」のように「1234」と入力、そのまま「Enter」キーを押さないで続けて「4321」と入力してください。

- 10) 「図 47 データ入力ダイアログ 1R データ入力後」図の「セルへ転送」ボタンがフォーカスします。フォーカスした状態で「Enter」を押すと次のプレイヤーの打数を表示します。

図 46 データ入力をする直前

(木村 素子は現在データがフルに入っているので「セルへ転送」がフォーカスするのですが、「図 45 Delete キーで打数を消去」のように全打数が空白の場合は「図 46 データ入力をする直前」図のような表示になります。)

- 11) 「図 47 データ入力ダイアログ 1R データ入力後」をもう少し詳しく説明します。

- a. 打数を入力する場合はスコアカードを見て4桁ずつ記憶し1234のように入力すると図の「▲」印の青いラインの上まで入力します。続けてスコアカードから4桁記憶して4321のように入力すると1ラウンドが2回の入力できます。

勿論8ケタを記憶して一度で入力してもかまいません。入力のこつは東京都の4桁局番と電話番号を入力するように「1234の

図 47 データ入力ダイアログ 1R データ入力後

4321」と入力すると段々と慣れて8桁が一度で入力できるようになります。

- b. 「試合打ち切」スピンボタンの説明をします。「毎回入力データ」シートは総打数の入力で4ラウンドまで集計できますが次項のような状況があるため試合の打ち切り回数を「0」～「4」までの範囲で設定できます。
- c. 大きな大会などの場合は試合会場でデータを入力して直ぐに集計結果を得る必要があります。この場合のスピンボタンを「0」に設定してください。
- d. 同好会などでグループを組んで試合をする場合は一般に試合が済んでから自宅に持ち帰って集計をしたいと思います。この場合はスコアカードを見て試合数（試合のラウンド数）に合わせてスピンボタンは「1」～「4」の数字を変更してください。
- e. 「c」の場合は1ラウンド（1ゲーム）が終了するとスコアカードは回収できておりプレイヤーが2ラウンドの試合をしている間にパソコンでは試合の結果を入力できます。スピンボタンを「0」に設定した場合は、1R（ラウンド）の入力が終わると直ぐに「Enter」をフォーカスし、打鍵すると直ぐに次のプレイヤーの名前を取り込み、1Rの最初の入力ボックスにカーソルが移動するので直ぐに打数の入力ができます。
- f. 「d」の場合はスコアカードを見て1人のプレイヤーの1R～4Rをまとめて入力する方が入力し易いのです。そのためスピンボタンを試合総回数に合わせて置くと連続

して1人の入力だけができます。

例えばスピントンを「2」していた場合は1人の入力が2Rで終わると次の人の氏名を取り込みます。

- g. チェックボックスは気にしないでください。ラウンドに合わせて自動移動します。
目印と考えても良いでしょう。

(18)「毎回入力データ」ダイアログボックスのコマンド（ボタン）等の説明

No： 毎回入力データシートの「A」列Noを取り込みます。

（以下の説明ではシート名を省略します。）

GN： 「B」列「GN」を取り込みます。

スタートホール： 「C」列GNを取り込みます。

氏名： 「D」列氏名を取り込みます。

1R～3R 1～8 ボックス： 「E」～「L」列の各ラウンドの打数を取り込みます。

スタートホールスピントン： 打数を入力する場合、入力したスタートホールの番号を先頭に表示してスコアカードとの照合をし易くして入力できます。（1～8番の打数入力ボックスをダブルクリックした場合も同じ機能が使用できます。セルにデータを転送する場合はホール番号を手動で順番に戻す必要はありません）

「図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力」図を参照

取り込みボタン： ボタンをクリックすることでセルの内容を再取り込みできます。

キャンセルボタン： データをセルに転送しないでダイアログボックスを閉じます。

セルへ転送： ダイアログボックスに入力したデータをシート上のセルに転送します。

打数スキップ： 打数入力以前の準備で氏名だけ入力する場合は、チェックマークを「ON」にして入力します。（シートへ入力が済んでいる場合は使用しません）

1R_Input～3R_Input チェックボックス： 打数を入力する場合、ラウンドの位置にカーソルが自動移動します。ラウンド位置の目印と考えても結構です。

試合打切： 1ラウンドの入力が済むと次のプレイヤーに移動して氏名を取り込みたい場合はスピントンを「0」にします。

次回の試合で公表のための集計を自宅で一括集計する場合は、一人のプレイヤーについて全ラウンドの入力が済んで次のプレイヤーの氏名を取り込む場合はスピントンを「1」～「4」ラウンドの試合数に合わせてください。

2桁入力： 打数をボックスに入力する場合、1～9の数字を入力することが普通です。

シートのセルに入力する場合は1～9の数字以外に「Enter」キーを押して入力を決定しますが、「データ入力」ダイアログボックスでは1桁の数字を押すと後位のセルに自動的に移動します。（「Enter」キーを押す必要がありません）そのため、石や側溝など配置した難しいコースの場合で10点以上の2桁になる場合はこのキーを押して2桁の数字を入力できます。次にこのキーを押すまではキーを押したままの状態でもロックしますので再度このキーを押して解除してください。

(19)「毎回入力データ」ダイアログボックスのショートカットキー等の説明

「図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力」図のショートカットキー操作

Ctrl+Enter : 打数の入力中にこのキーを押すと「セルへ転送」ボタンをフォーカス（ボタンが Enter キーで直ぐ押せる状態）します。

Tab キー : 打数を入力中にこのキーを押すと次のセルへステップします。

Shift+Tab : 打数を入力中にこのキーを押すと逆方向にボックスをステップできます。

「→」「←」「↑」「↓」 : 打数のボックスでこれらのキーを押すと押した方向にボックスを移動できます。

Home : 打数を入力中にこのキーを押すと同じラウンドの最も左端にカーソルが移動します。（デスクトップパソコンの場合などで有効）

End : 打数を入力中にこのキーを押すと同じラウンドの最も右端にカーソルが移動します。（テンキーがあるパソコンの場合はこのキーが有効）

参考 : 「(5)」では「氏名の取込」により No、GN、Start Hole、氏名をシートに直接取り込む説明をしました。

別の方法で「[図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力](#)」図の「データ入力」ダイアログボックスを使用して「打数スキップ」ボタンを押して氏名だけを連続してシートに直接入力することもできます。しかし手間が掛かるため、「(5)」で説明の「氏名の取込」により入力されることを推奨します。後述する「(20)」の項の「集計入力データ」シートの場合でも同様です。

(20) 「集計入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力

「集計入力データ」シートの場合は順位計算だけを「点数順集計表」に表示したい場合は 9 ホール以上の競技にも対応でき競技中にスコアカードで各ホールの実打以外に H1、2 打、3 打ごとの発生個数を手計算したものを 1 ラウンドから 4 ラウンドごとに（2 ラウンドで打切りは可能）入力する方法です。スコアカードが対応しているなら試合の総合計だけを 1R だけに入力してもかまいません。

氏名の入力は「(5)「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む」で説明している「毎回入力データ」の文字を「集計入力データ」に置き換えてご覧ください。実行する場合は「集計入力データ」シートから<氏名の取込>を選択してください。また「GG_同好会メンバー2014 年度.xlsm」の「メンバー編集」シートは行タイトルがなく A 列 No、B 列 GN、C 列 Start Hole（スタートホール）、D 列 氏名、の対応付けですが「集計入力データ」シートには Start Hole は無いので「GG_同好会メンバー2014 年度.xlsm」の「メンバー編集」シートを「集計入力データ」で使用する場合はこの列に文字がある場合は無視し「毎回入力データ」シートを使わないで「集計入力データ」シート専用で使用する場合は「C」列が未入力（空白）であっても動作しますが「C」列を「列ボタン」で削除してはいけません。

(21) データ入力ダイアログボックスの表示をするには

- 1) 「集計入力データ」シートの氏名のセルを右クリックするかまたはツールボタンの「データ入力」をクリックした場合は「[図 48 集計シート「データ入力」ダイアログ](#)」図のダイアログボックスを表示します。

2) ボタンの説明やショートカットキーの説明、並びに操作の説明は「**毎回入力データ**」シートの「データ入力」ダイアログボックスと殆ど同じなので省略し、次項で違う点だけを説明します。

実打： 1R、2R、3R、4R についてそれぞれのラウンドの各ホールの合計を入力します。

図 48 集計シート「データ入力」ダイアログ

H1： 上記同様にホールインワンが出た数を入力します。

2 打： 上記同様に 2 打が出た数を入力します。

3 打： 上記同様に 3 打が出た数を入力します。

試合打ち： 「(18)」の「**試合打ち**」の項と同じです。

(22) 行の挿入と削除

プレイヤーを増減する場合、行番号を直接ドラッグした操作をしないで「**図 49 プレイヤーの追加・削除**」図を表示して行の増減をしてください。データを入力する「毎回入力データ」シートの場合には表の中には「式」や「セルの結合」などの書式が設定してあるので行追加の操作が面倒であり、以下の操作はセルの結合による「書式設定」や「式」の入力、「No」の付け替えなどをすべて自動実行します。(但しグループの付け替えはしないので＜新規開始／追加／変更＞を使用しますが、この場合もスタートホールの同時付け替えはしないので行の挿入削除はグループ内の各所に少人数を追加する程度で使用し、大きな変更は「氏名の取込」をクリックで変更した方が簡単です。)

集計入力データシートにもこの機能があります。

1) 行を挿入する場合は挿入する行の「A」列で右クリックすると、「**図 49 プレイヤーの追加・削除**」図を表示します。挿入数を変更する場合はスピンボタンまたは直接数字を変更してください。複数セルをドラッグして右クリックした場合の表示は、「挿入数」：に複数セル分の数値「n」を表示します。

2) 行を削除する場合は「A」列をドラッグした範囲を「削除数」に表示します。

図 49 プレイヤーの追加・削除

「削除数」ボックスの変更はできないので変

更する場合はドラッグし直してください。行の削除は「行削除」ボタンを押します。

参考： 最下部にプレイヤーを追加する場合は上記で説明の＜新規開始／追加／変更＞から「新規開始／追加／変更」ダイアログボックスを表示して「追加変更」ボタンが黒丸であることを確認し、表示している「競技者人数」を追加する人数だけ「増加」とすると増加分だけ最終行に追加します。最終行 + 1（最終罫線の下）で「1」セルをクリックまたはドラッグして右クリックすると「**図 49 プレイヤーの追加・削除**」図を表示して追加できま

す。

(23) 集計順位を計算して表示するには

- 1) 「毎回入力データ」シートにすべてのデータを入力した場合は<データ集計>をクリックすると「[図 50 データ集計](#)」図を表示します。<OK>ボタンを押すと「点数順集計表」、「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」「グループ別のホールインワン順」シートのすべてを一気に計算して「点数順集計表」シートに表示します。

- 2) 「集計入力データ」シートへ記入する。

チェックマーク： 通常は OFF で使用します。

- 3) 「グループ別集計表」シートについて表の見方を説明します。



図 50 データ集計

(他のシートは後述する同順位が発生した場合以外は上から昇順に順位を表示するので簡単に分かります)

「XL_4R 同好会 2015 04 01.xls」を例に説明しますが「グループ別集計表」シートの「1」位は、5 行から 10 行までのグループになります。「A」列の「小計」までが該当し「B」列を見ると「1」番のグループになります。

「Z」列を見ると上から下方向に順位の番号が大きくなります。

これらのグループ順位を分かり易くまとめたものが「41」行に「***** グループ別の小計順まとめリスト *****」として、この行の下に順位のグループが「A」列の「No」に「小計」と記入し、「B」列の「GN」列にグループ番号が順番に表示しています。「1」位は「1」グループ、以下 2 位が「3」のグループで最後が「4」グループと表示しています。

- 4) 「グループ別のホールインワン順」シートでも上記同様の見方をしてください。

(24) 「点数順集計表」シートに同順位が発生した場合

「点数順集計表」シートで順位を決定する方法は、「[2 13](#)」項で説明したように、以下の取り決めです。

- a. 合計の少ない方が、順位が上です。
- b. 合計が、同点である場合は H1 (1 打のホールインワン) 2 打、3 打の回数が多い方が順位を上位 (3 打より 2 打、それよりも 1 打が多い方が上位) とします。

参考 1： 添付したサンプルファイル「XL_4R 同好会 2015 04 01.xls」は以下で説明する同順位が発生した場合に「[ニアピン](#)」競技のデータを入力する以前の状態です。

(理由はニアピンによる処理をしたファイルを添付すると同順位に対する赤色と緑色のカラー表示が消えるため同順位の説明が難しくなるためです)

参考 2： 「点数順集計表」、「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別のホールインワン順」シートでは「Delete」キーがすべてのセルで有効であり、セルを「弾く」などの対策がしてありませんので、「[ニアピン](#)」順位を入力する場合、誤ってセルの「消去」をしないように気を付けてください。直後であれば「元に戻す」が有効です。

参考 3： 同順位が発生したことにより「[ニアピン](#)」カラーが付いている場合に、「字幕と野

線引き」を実行するとニアピンのカラーが消えるため実行禁止です。

理由はすべてのシートのニアピン競技をして順位を決定し終わった場合は問題ないのですが一部のシートでニアピン競技が済んでいないシートがある場合は再度<データ集計>を実行するとニアピン競技が済んでいるシートがニアピン競技の前の状態に戻るため再度<データ集計>を実行することもできなくなりニアピン競技の結果の氏名や順位のメモを取って<データ集計>再実行するなどのことになるためです。

(字幕と罫線引き)では「実行確認」画面でこれらの説明をしています)

上記「a」または「b」のようにして細かく計算させていますが、多くの場合、上位のプレイヤーは1ホールを3打以内でゴールすることの外、プレーを2ラウンドで終了する場合などでプレーの回数が少ないほど同順が発生する確率が高くなります。

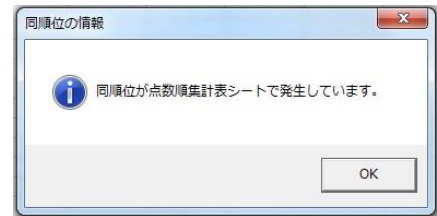


図 51 同順位が発生した場合

「毎回入力データ」シートから<データ集計>をクリックして「点数順集計表」シートで同順位が発生した場合は「図 51 同順位が発生した場合」のようなメッセージを表示すると共にシートには「図 52 点数準シートの順位重複」のように同順位となった行の「ニアピン」の列 (Y 列) に同順位のグループごとに「赤色」と「緑色」のカラーを交互にプログラムが付けて表示します。

同様に「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別ホールインワン順」シートに同順位がある場合も赤色と緑色を交互に色付けして同順が発生していることを示します。

同順位が発生しない場合は「データ集計が終了しました!」と表示します。

このように「点数順集計表」シートや他のシートで「Y」列にカラーを表示する同順位が発生した場合は、カラーエリアごと以下で説明の「※ ニアピン競技」をして順位を決め各色のブロックごとに順位番号を入力して同順位が発生しないよう順位を振り直します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1	点数順集計表																									
2	競技大会: 2015年03月29日(日)				グラウンドゴルフ同好会																					
3	No	GN	氏名	1R			2R			3R			4R			Total			合計	ニアピン	順位					
4				実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打			
5	3	1	瀬山 秋子	22		4	2	20	1	2	5	25		3	1	17	3	1	4	84	4	10	12	72		1
6	18	3	中川 由加里	19	1	4	2	19		5	3	21	1	2	4	19		5	3	78	2	16	12	72		2
13	10	2	小林 昭子	22		4	2	24		2	4	19		5	3	20	1	2	5	85	1	13	14	82		9
14	17	3	内山 恵美子	23		2	5	22		3	4	22		2	6	18	1	4	3	85	1	11	18	82		10
15	25	5	浅岡 智宏	22		3	4	22		2	6	19	1	3	4	22		3	4	85	1	11	18	82		10
16	11	2	佐々木 英明	20	1	2	5	24		3	3	21		3	5	22		3	4	87	1	11	17	84		12
17	29	5	山本 秀子	21	1	2	4	22		2	6	21		4	3	23		3	4	87	1	11	17	84		12
18	14	3	山住 敦人	21	1	1	6	20		4	4	23		2	5	23		2	5	87	1	9	20	84		14
19	12	2	澤辺 寿子	20	4	4	4	21		4	3	22		3	4	21		5	1	84		16	12	84		15
20	20	4	夏川 智美	23		2	5	21	1	1	6	21		4	3	23		1	7	88	1	8	21	85		16
21	21	4	石宗 和歌子	26		1	4	20	1	2	5	21		4	3	22		2	6	89	1	9	18	86		17

図 52 点数準シートの順位重複

◆「点数順集計表」シートの場合：

以下の操作は同順位をなくしたい場合にだけであって必要に応じて実行してください。

- 1) 同順位が「点数順集計表」シートで発生した場合は、まず、「点数順集計表」シートから

「※ ニアピン競技」の処理をしてください。

理由は「点数順集計表」シートで＜データ集計＞を押した場合は後位のシートクリアし「点数順集計表」シートの結果を「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別ホールインワン順」シートでも計算し直すためです。

※ ニアピン競技をした場合の処理方法：

- 1) カラーが付いた Z 列のセルの同順位番号ごとのグループで集合します。

この図では順位が 10 番の赤色のグループと順位 12 番の緑色のグループがそれぞれニアピン競技集合します。

各、順位ごとにホールポストに向かって球を打ち、もっとも近い人を 1 番として降位の人を老番として順次「Y」列の該当者位置に番号を入力します。

- 2) 同図では No25 の浅岡 智宏プレイヤー

がホールポストに近い場合は「図 53 ニアピン入力」図のようにセル Y15 に「1」、距離の遠かった No17 の内山 恵美子プレイヤーは Y14 セルに「2」、という具合に「Y」列の赤色に順位番号を入力し、別の緑色のグループでは佐々木 英明プレイヤーが近かったので Y16 セルに「1」、山本 秀子プレイ

	A	B	C	T	U	V	W	X	Y	Z
1	点数順集計表									
2	競技大会: 2015年03月29日(日)									
3	No	GN	氏 名	Total				合計	ニアピン	順位
4				実打	H1	2打	3打			
12	26	5	野山 孝一	84	1	17	7	81		8
13	10	2	小林 昭子	85	1	13	14	82		9
14	17	3	内山 恵美子	85	1	11	18	82		10
15	25	5	浅岡 智宏	85	1	11	18	82		10
16	11	2	佐々木 英明	87	1	11	17	84		12
17	29	5	山本 秀子	87	1	11	17	84		12
18	14	3	山住 政人	87	1	9	20	84		14
19	12	2	澤辺 寿子	84		16	12	84		15
20	20	4	夏川 智実	88	1	8	21	85		16

図 53 ニアピン入力

ヤーは Y17 セルに「2」などのようにホールポストに距離の近い人から順に昇順の番号を入力して行きます。例えば 4 人の同順位がある場合は重複が無いようにその人のニアピン競技の順に、「Y」列に 2、1、4、3 の番号を入力します。(番号が少ない方がニアピンの距離が短く順位が上です)

- 3) 「点数順集計表」シートのすべてのカラーグループ別に順位番号を入力し終わると同シート内の＜データ集計＞を押すと「点数順集計表」シートの Z 列の順位がすべて 1 番から重複無しで末尾まで番号を振り直しカラーも消えます。この時 Y 列はすべて若い番号順になり上記の「2」の例ではセル Y14 が「1」、Y15 が「2」、緑色のグループの順位はそのまま入れ替わりません。例えば 4 人が同順位になったグループの場合は並べ替えられて Y 列は上から順に 1、2、3、4、のようになります。

注意： 「点数順集計表」シートで「ニアピン」列に入力し＜データ集計＞クリックにより結果が出た場合は、「毎回入力データ」シートや「集計入力データ」シートから＜データ集計＞を押すと「下記シートでニアピン順位番号が入力されています」と注意メッセージを表示します。それでも押すと「点数順集計表」シートは最初の順位に戻ってしまうので故意以外はうっかりクリックしないようにご注意ください。

◆ 「ホールインワン集計表」シートの場合：

「点数順集計表」シートで＜データ集計＞を押して処理が済んだ場合は降位にあるすべてのシートにその処理結果が反映されて同順位などの状態が変わります。次に、「ホールインワン集計表」シートのニアピンの列にカラーが付いている場合は各カラーのブロック

ごとにニアピン競技をしてその結果により同列に順位番号を入力してください。次に「ホールインワン集計表」シートから<データ集計>を押すとプログラムはニアピンの番号を基に順位番号を振り直します。その結果は降位にあるシートには反映しません。「ホールインワン集計表」シートだけ処理します。順位が決定した場合「このシートに対するデータ集計が終了しました！」と表示します。

◆「グループ別集計表」シートの場合：

上記の処理が済んだ場合、次は、「グループ別集計表」シートでは同順位がある場合は「***** グループ別の小計順まとめリスト *****」の文字がより下の、ニアピンの列にカラーを付けます。カラーが付いている場合は「***** グループ別の小計順まとめリスト *****」の文字より上側に表示している各グループの最上位がグループの高順位者ですから同順のグループのみ、この中からニアピン競技をして該当する位置のカラーエリアに順位番号を入力してください。次に「グループ別集計表」シートから<データ集計>を実行するとプログラムはニアピンの番号を基に順位番号を振り直します。その結果は降位にあるシートには反映しません。「グループ別集計表」シートだけ処理します。順位が決定した場合は「このシートに対するデータ集計が終了しました！」と表示します。

◆「グループ別のホールインワン順」シートの場合：

このシートの場合も他のシートと同様です。カラーが付いているグループ番号から「グループ別集計表」シートの上部の方のデータを参考にホールインワンが多い人がニアピン競技をしてその順位を入力し、「グループ別のホールインワン順」シートから<データ集計>を押すとプログラムはニアピンの番号を基に順位番号を振り直します。順位が決定した場合は「このシートに対するデータ集計が終了しました！」と表示します。

参考： 同順位があまりにも多い場合は上位 20 番以内のみニアピン競技を行いそれ以下は同順位のまま公表しますなどしないとニアピン競技に時間が掛かり、公表が遅れるという事態になる可能性がありますのでプレイヤーに事前にこのことを周知しておく必要があるかも知れません。

(25) 印刷

「点数順集計表」シートを印刷する場合に「印刷」をクリックすると「図 54 印刷」の図が表示します。

プリンターの①「名前」を選択して②の<OK>を押します。

(26) Z4 全試合スコア集計

XL_Z4 全試合スコア集計へ移動します。
<データ集計>により「点数順集計表」シートの集計が終了し確認も済んだ場合は、「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」（「*」は年号）を起動して「年

間」「月間」「週間」「四半期」「優勝回数」などの集計をすることができます。当説明に

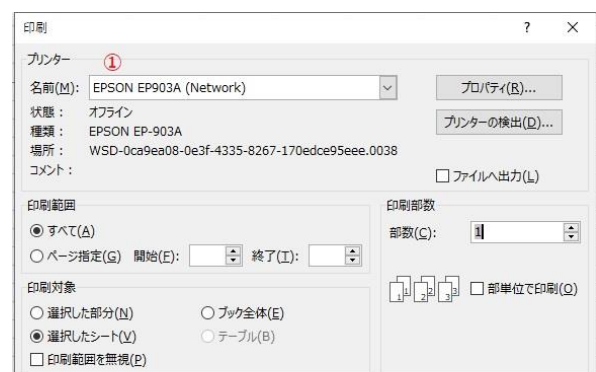


図 54 印刷

については添付の「XL_Z4 全試合スコア集計説明書」をご覧ください。簡略版説明書は本説明書の「8 (5) XL_Z4_AR 全試合スコア集計プログラム」に記載しています。

この項では本プログラムから直接「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」に移動する手順までを記述します。

- 1) Z4 全試合スコア集計へ移動した場合は、現在使用中のファイルは閉じてしまうので「上書き保存」してください。（「上書き保存」をしていない場合は次項の「2」を実行すると『「上書き保存」は済んでいますか？』のメッセージを表示します。）
- 2) <Z4 全試合スコア集計移動>をクリックしてください。
- 3) 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開くので「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」を選択して<開く>ボタンを押します。
- 4) 「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」を開きます。
- 5) これ以降は別途「XL_Z4 全試合スコア集計説明書」をご覧ください。

(27) 多人数による大会での集計方法

<GG ファイル取り込み>の説明です。

競技前に事前の準備が必要です。

概要： 多勢で競技する場合パソコンを複数台用意して打数入力だけを分散作業します。

データの入力さえすれば計算集計はリアルタイムに処理できます。

作業の概要ですが、打数などを複数のパソコンで分担して入力するため事前に「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートに NO、GN、Start Hole、氏名、だけが入力されたデータをグループごとに分割して USB フラッシュメモリーなどにより複数のデータ入力用パソコンに配布します。（添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を流用して 30 人と致しました。）

以下で説明するのは Web 配布する関係でファイルサイズを小さくしたため人数が少ないのですが、総勢 30 人のプレイヤーのデータを 3 台のパソコンに分割して配布して打数を入力した後、USB メモリで最終集計用パソコンに返して一旦保存します。

最終集計用パソコンでは<GG ファイル取り込み>によりグループごとに分割されたデータファイルをリアルタイムで取り込んで結合します。次に<データ集計>を実行して集計します。

注意事項： 大きな大会での失敗は許されません。ぶつつけ本番は危険ですから事前に操作を熟知し訓練や確認が必要です。

- 1) USB フラッシュメモリーのドライバーのインストールや動作の確認が必要です。
- 2) 事前に本プログラムを使用し添付の「3 (1) 10 「XL_4R_G 分散集計サンプル」：」を実践してみる必要があります。パソコンのバージョンによる問題などを考慮し、最終集計用のパソコンではプリンターによる印刷の確認も必要です。
- 3) 大会での電源の確保、プリンター、テーブルタップや延長コードも必要です。

事前準備：

「図 55 分散集計説明図事前準備」は「図 7 配布ファイルの内容」図の一部を貼り付けたもので説明をするための参考用ファイルです。

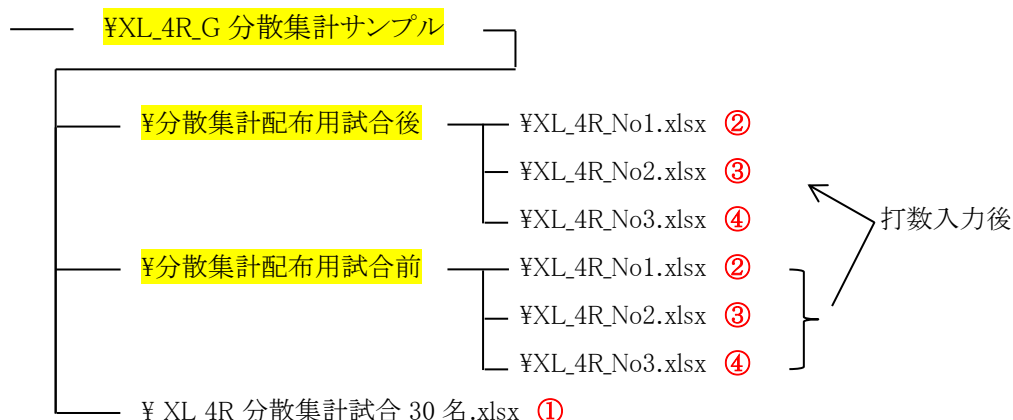


図 55 分散集計説明図

実際の試合で実行する場合は、フォルダ名などはユーザーの分かり易いように自由に付けてください。

本競技を行う場合に事前準備で使用するファイルは何時もユーザーが試合の集計に使用するデータファイルで作ることができます。

この説明では添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を使用して作っています。

「XL_4R_G 分散集計サンプル」フォルダの中にある①の「XL_4R_分散集計試合 30 名.xlsx」を開いて見てください。

添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の毎回入力データシートのセル「E4:L123」の範囲をドラッグしてデータをクリアしたものです。（「毎回入力データ」シート以外にデータがないのはWeb 配布する関係で少しでもファイルサイズを少なくしたためユーザーの使用時においては後位のシートでは元のデータが残っていてもかまいません。＜データ集計＞を実行した場合にこのようにプログラムがすべてクリアして集計します。後に説明のファイルについても同様、他のシートはデータがあってもかまいません。

- 4) ①の「XL_4R_分散集計試合 30 名.xlsx」の行番号をドラッグして10人分ずつに3分割して保存したのが②～④の試合前に各パソコンへ配布する準備用ファイルです。
- 5) 前記の「0」、「4」は既に「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」が入力してありますが実際の試合用を作る場合ユーザーは「4 (5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名」などの操作方法により「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」を入力して準備して保存して置いてください。

準備したファイルを各パソコンに配布：

- 1) 試合当日予定の競技者が都合で出席できず代理人になるかも知れません。その時は氏名を元の参加者にするか余裕があるなら②～④ファイルの氏名を変更します。
- 2) 次は最終集計をするパソコンには先頭②ファイルの「XL_4R_No1.xlsx」を集計するために残しておき③の「XL_4R_No2.xlsx」と、④の「XL_4R_No3.xlsx」は残り2台のパソコンにファイルをUSBフラッシュメモリーに保存して1個宛て配布します。
- 3) ③、④集計を担当するパソコンでは＜データ集計＞は実行する必要はありませんので打

数入力が終われば直ぐ使用中 PC のハードディスクに保存します。

- 4) 競技が進行、個別集計を担当する各パソコンではスコアカードを見てデータを入力して、4 ラウンド全部が入力できた場合は使用中 PC のハードディスクと USB フラッシュメモリーに保存して最終集計用のパソコンに渡します。

各パソコンで分散集計後に最終集計用パソコンに回収し HDD に保存：

- 1) 最終集計用パソコンでは、先頭②ファイル集計していた筈ですから集計後それを保存して一旦閉じます。
- 2) 上記「4)」の其々入力が終わった USB フラッシュメモリーのデータを前「1)」項の集計用パソコンの同じハードディスクに保存します。②～④の打数入力済みファイルが揃いました。分散集計配布用試合後フォルダには関係のない他のファイルは一切保存しないでください。(最終集計パソコンで「2)」項の処理を実行した場合、関係のないファイルを一緒に取り込むからです。)

各パソコンから集めたデータをインポートし結合する：

- 1) 最終集計パソコンでは Excel を起動して「ドキュメント」から「XL_4R_G 分散集計サンプル」フォルダの中にある①の「XL_4R_分散集計試合 30 名.xlsx」を開きます。(この時開くファイルは先頭が「XL_4R」が付いているアドイングラウンドゴルフ用ファイルなら、②～④のファイル以外は何でもよいのです。先頭に「XL_4R」が付いた何かのアドインのグラウンドゴルフ集計用データを起動しないと「グラウンドゴルフ」タブが表示しないからでユーザーの競技集計用データをコピーしたものでも、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」をコピーしたものでも構いませんが、①で作ったものが利用し易いからです)。

- 2) 次に<GG ファイル取り込み>をクリックします。

- 3) 「図 56 GG ファイルの取り込み」の図が開きます。

『データ取り込み直後に「No」の列で昇順に並べ替えをする。』にチェックを入れて並べ替えができます。忘れても点数に影響はない上、「No」の列で昇順並べ替え」があります。<データ集計>の実行後に「毎回入力データ」シートでこれらの並べ替えを実行しても何の問題ありません。「注記 1)」

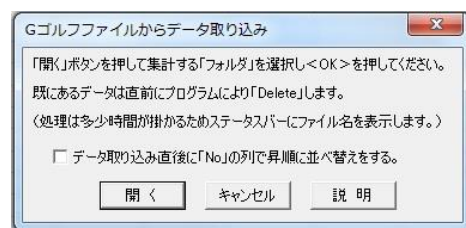


図 56 GG ファイルの取り込み

- 4) 続けて<開く>ボタンを押すと「図 57

フォルダを選択」ダイアログボックスが開きます。

- 5) 「ドキュメント」の「XL_4R_G 分散集計サンプル」フォルダの中にある「分散集計配布用試合後」フォルダを選択して<OK>ボタンを押します。(この時、フォルダは開くのではなく選択するだけです。)

- 6) ステータスバーに取り込み中のファイル名を表示し、このサンプル「X 分散集計

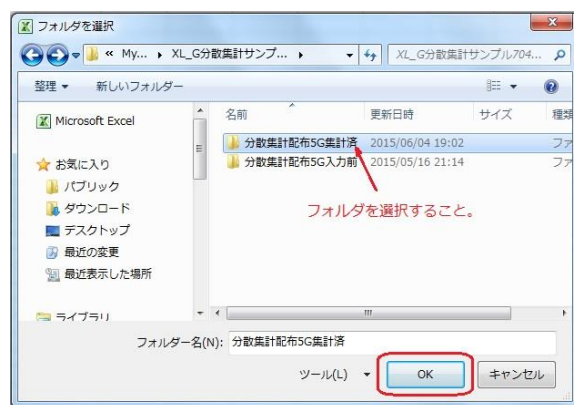


図 57 フォルダを選択

配布用試合後」フォルダの場合はフォルダ内 3 個のファイルを一気に取り込みます。

注記 1：『データ取り込み直後に「No」の列で昇順に並べ替えをする。』にチェックを入れている場合はプログラムが取り込み後「No」の順にならばかえをします。配布前に「分散集計配布用試合前」フォルダ内の②ファイル「XL_4R_No1.xlsx」、③の「XL_4R_No2.xlsx」、④の「XL_4R_No3.xlsx」。末尾の番号を「毎回入力データ」シートの No 順にと対応してファイル名の番号を振れば大丈夫です。試しに「分散集計配布用試合後」フォルダ内の②ファイル「XL_4R_No1.xlsx」を「XL_4R_No4.xlsx」などに替えてダイアログが表示したとき『データ取り込み直後に「No」の列で昇順に並べ替えをする。』にチェックをしないで＜GG ファイル取り込み＞を実行すると「毎回入力データ」シートに取り込んだ時に No 順が入れ替わることが分かります。

参考：「集計入力データ」シートで実行する場合は同シートを同じようにパソコン台数分に分割して保存し作業を分散してデータ入力ができます。わずらわしい場合「毎回入力データ」シートは非表示にしても構いません。

サンプルファイルは表紙の URL Web ホームページからダウンロードできます。

5 その他の機能について

(1) 新規開始／追加／変更

「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートでタイトル行から下を、行ボタンをドラッグして全行を削除した場合は本機能により関数式を作らないとダイアログボックスから表を作ることはできません。

＜新規開始／追加／変更＞について説明します。

(どんな場合でも「4 (5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名」で No、GN、Start Hole、氏名を編集して取り込む方が簡単です。

この項ではグループ構成方法や一般事項だけを参考にするだけとし、氏名などの編集は前出しの「4 (5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名」をご使用ください。

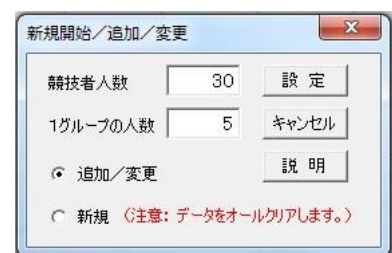


図 58 新規開始／追加／変更

1) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開いてください。

2) 「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートの場合＜GG_4R＞―＜新規開始／追加／変更＞を選択すると「図 58 新規開始／追加／変更」を表示します。この時、コマンドボタンは「追加変更」に黒丸が付いています。

3) 「説明」のボタンを押すと簡単な使用説明を表示します。

4) 「新規」ボタンをクリックしてこのボタンを黒丸にしてください。

「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートでタイトル行から下を、行ボタンをドラッグして全行を削除した場合も「新規」ボタンで追加できます。(何れのシートでも、タイトル行を削除するとプログラムエラーになるため削除してはいけません)

- 5) 競技者人数の表示が同図では「30」、1 グループの人数は「6」と表示していますが、それは使用中の「毎回入力データ」シートの人数を読み取りその人数を表示します。
- 6) 「1 グループの人数」とは「1 グループ」内のスコアカードの人数のことで、総人数が 30 人で、6 グループ作る場合は「 $30 \div 6$ 」で「5」と入力します。
- 7) 次に設定ボタンを押すと No、GN 以外がきれいにクリアして新しい表ができます。
- 8) 他のシートに切り替えると過去のデータがすべてクリアされて項目タイトル以外が真っ白になっています。
- 9) 続けて試す場合は<新規開始／追加／変更>を選択し「[図 58 新規開始／追加／変更](#)」を表示し「新規」ボタンが黒丸になっていることを確認し「競技者人数」に「35」、「1 グループの人数」には「5」と入力し「設定」ボタンを押してください。

参考：GN（グループ番号）は数字以外のアルファベットなどを入力することは無効です。

新規の表を作る場合で「総人数÷グループ数」が割り切れない場合で何れかのグループの人数を減らす場合、多めの「競技者人数」と最大「1 グループの人数」を入れてシートに記入した後、氏名などのデータを入力する以前に、次の操作により削除できます。削除する該当グループの行の、「A」列を右クリックして「[図 49 プレイヤーの追加・削除](#)」図を表示して、「行削除」ボタンを押します。この場合削除された行の「No」は先頭行から一発付け替えができます。

（グループ別のプレーをしない場合：「1 グループの人数」を入力しない場合で、シートの「GN」に番号が入力していない場合はシートの「グループ別集計表」シートと「グループ別のホールインワン順」シートには集計結果を無視して出力しません。表示している場合は過去のプレーがクリアしないで表示しています。）

グループ別の番号変更は「[図 58 新規開始／追加／変更](#)」により変更しますが、シートに入力後にグループ番号の必要無くなった場合はシートの「GN」列を直接ドラッグして「Del」キーで消去が可能です。競技者人数は最高「1000」人までとします。

(2) 字幕と罫線引き

ツールボタンの「字幕と罫線引き」は「毎回入力データ」シート以外の字幕付きのシートの場合に字幕カラーとラインの再設定ができます。

- 1) 「毎回入力データ」シート以外のすべてのシートには前後の行と区別し易くするために字幕が付いています。
- 2) 字幕を付けるまたは行の削除などで字幕を付け直す必要が生じた場合、該当シートから「字幕と罫線引き」を押して、実行してください。
- 3) 「毎回入力データ」シートでは 4 行間隔で罫線が太線ですから付ける必要が無いので「字幕と罫線引き」は「影」の表示になります。
「グループ別集計表」でも使用できません。
その他、罫線などの乱れを修正する場合は「[\(5\) 書式の設定式の再入力](#)」を実行してください。

(3) No の記入

- 1) 「No の記入」をクリックすると「No」だけを上から振り直します。

2) 「No」 付け替えをした場合、「GN」 の付け替えは実行していません。

(4) No の列で昇順並べ替え

- 1) 「4 (27)3」 のようなとき使用します。
- 2) 「毎回入力データ」 シートでは結合セルがあるため、Excel の標準機能で<データ (D) > – <並べ替え (S) >では並べ替えができません。
- 3) 「No の列で昇順並べ替え」 をクリックすると「No」 の列を元に昇順で並び替えができます。シートにエラーのカラーなどが付いている場合はカラーを消します。「4 (27)3」 で並べ替えを忘れた場合も有効です。

(5) 書式の設定式の再入力

「毎回入力データ」 シートでは「M」 列より右方向のすべてのセルに関数式が入っています。セルの関数式を保護するためにセルをクリックするとそのセルを「弾く」ため「1」セルだけクリックしたままにすると関数式を数式バーから見る事ができます。これらのシートは他のセルを弾かないセルと一緒にセル上をドラッグして「Delete」すれば式が消えます。「データ集計」を実行した場合やダイアログボックスを表示して打数の入力が済んだ場合に「セルへ転送」ボタンを押した場合、該当行に関数式を再設定しています。その他、関数式を自動で再設定する機能が有り操作は以下のようにします。

- 1) 「書式の設定式の再入力」を実行すると関数式を全行設定します。
- 2) 試す場合は「毎回入力データ」シートで「L」列より右方向のセルからU列までドラッグして「Delete」した後、上記の操作で式を入れセルをクリックしたままで「数式バー」を見れば入力する事が分かります。この場合「L」列の8ホール目のデータが消えます。「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」を保存しないで一旦終了して再度開き直すか、<書式の設定式の再入力>を実行してください。

(6) データ入力漏れチェック

データの入力漏れをしたセルが有る場合は順位が変わるので入力漏れが無いかチェックできます。

漏れがある場合はセルに「赤色」を付けるので必ず修正して、エラーがなくなるまで再実行をしてください。続けてエラーチェックする場合、エラーカラーの「赤色」はそのままでもプログラムが消してチェックを開始します。セルを修正するたびにエラーの赤色を消してチェックを確認したいと言う場合は赤色のセルを選択してExcel リボンのドロップリストから「塗りつぶしなし」を選択すればカラーが消えます。<No または氏名の重複調査> – <データ入力行のカラーを消す>によりカラーを消すことができます。

- 1) 操作方法は<データ入力漏れチェック>をクリックします。

- 2) 「図 59 データ入力漏れチェック」を開きます。

- 3) 文字と数字が入力されている列については、このダイアログボックスを開いた時点で、各項目のチェックボックスにチェックが付いているので処理が必要な項目をチェック「ON」にし、チェックの必要がな



図 59 データ入力漏れチェック

い項目は「OFF」してください。(GN がすべての行で空白の場合は、このボックスを開いた時からチェックは消えています。)

- 4) 上述したように空白がある場合「赤色」でカラーが付きエラー数を報告します。

(7) No 重複 空白調査

<GG ファイル取り込み>を実行した場合は、重複が無いかをチェックして置く必要があります。(重複が有る場合に「No の記入」を実行すると番号を順に付け替えるので重複が有った場合でも分かりません。)

(総人数で重複などは確認できるので必要な場合だけこの処理を使用してください)

- 1) <No 重複 空白調査>をクリックします。
- 2) エラーがある場合、行全体が赤色になります。ダブルクリックしていると 2 倍の数になり行全体が赤色ですぐ分かります。
エラー数は報告しませんので最後の行まで確認してください。
- 3) エラーがある場合はシートの行を並べ替えてエラーの行を前後並べ、間違いがシート上において一目で分かるようにして表示し、「[図 60 No の重複メッセージ](#)」を表示しますが、同ボックスのメッセージのように行を「並べ替え前の状態に戻しますか」と聞いて来ます。通常は<はい>をクリックして並べ替えを戻してください。

再度「No 重複 空白調査」を実行することもできし、並べ替えを戻しても前後のカラーの行が離れるだけで「赤色」カラーは消えませんが元の場所の確認が出来ます。<いいえ>を押すと二度と戻す事はできません。

<いいえ>を押すのはこのエラーの調査目的ではなく、並べ替えを実行したい場合のために付けています。

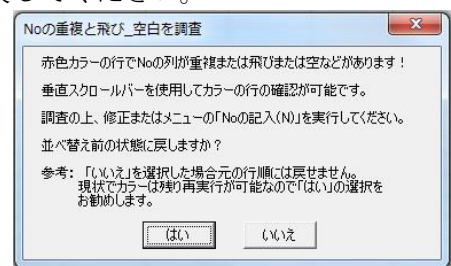


図 60 No の重複メッセージ

(8) 氏名の重複 空白調査

上記の「(7)No 重複 空白調査」と同様です。<氏名の重複 空白調査>を操作するには上記「(7)No 重複 空白調査」を氏名に置き換えてご理解ください。競技者多勢の場合は目では分かりにくい場合この本機能を実行することをお勧めします。番号が付け変わっていても氏名でチェックできます。

(9) エラーカラー消去

字幕を消す場合または故意にエラーを起こした場合その他でデータ入力行全行のカラーが消えます。<データ入力行のカラーを消す>をクリックすると実行確認メッセージが表示するので<OK>ボタンを押します。

(10) 検索

「D 列」の「氏名」の文字列を検索する場合にだけ使用します。他の列は検索の必要が無いので検索をできなくしてあります。

- 1) 「グラウンドゴルフ」タブの「検索」をクリックします。
- 2) 「[図 61 氏名の検索](#)」のようなダイアログボックスが開きます。

- 3) コマンドボタンに「あいまい検索」と「完全一致文字列」ボタンがあります。それぞれの意味は次のとおりです。

a. 「あいまい検索」： 「セルの文字列の内で部分的に一致する文字だけ」を検索するという意味です。「性」だけを入力して次々に検索する場合に便利です。

b. 「完全一致文字列」： 「セル内すべての文字列が完全に一致」するものだけを検索する場合に使用します。「姓名」両方を入力して完全に一致するものを探します。

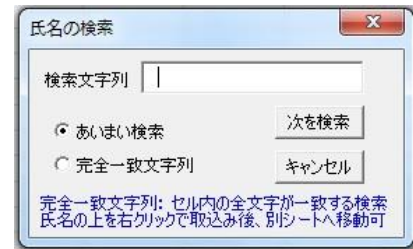


図 61 氏名の検索

- 4) 検索の試しをするので開いているすべてのファイルを閉じてサンプルファイル「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開いてください
- 5) 「毎回入力データ」シートから「検索」をクリックします。
- 6) コマンドボタンが「あいまい検索」になっていることを確認し文字列ボックスに「浜崎」と入力します。
- 7) 「次を検索」ボタンを押します。
- 8) 「88」行の「浜崎 百合子」にカーソルが移動します。
- 9) 「浜崎」の性が2個以上ある場合は「次を検索」ボタンで別の行のボタンを押すごとに検索できますがこのファイルには同性の氏名が有りません。
- 10) 「次を検索」ボタンを押す場合は、わずかに間を取ってあまり早く押さないようにします。(クリック間隔が短いと検索処理を実行できません)
- 11) 「次を検索」ボタンを押した場合で複数の同じ文字列を検索した場合は検索が終了しました！ 「n」個のデータを検索しました。と検索数を表示します。
- 12) 上記「11」項の場合で検索が終了すると次の検索が出来るように元の「氏名の検索」ダイアログボックスが開きます。試す場合は1文字で「小」または、「中」などを入力して試してみてください。これらは「小泉」、「小林」後者の例では「中川」、「中山」の性があります。
- 13) 「キャンセル」ボタンを押せばダイアログボックスを閉じます。
- 14) 検索中にシート内のセルをクリックすると最初から検索がやり直しになるように作っています。
- 15) 「完全一致文字列検索」では文字どおり「半角」、「全角」、「スペース」などすべて完全に一致する文字列を検索する場合に使用します。
- 重複した「性」がたくさんある場合は名前まで入れると何度も「次を検索」ボタンを押す必要が無く「一発検索」ができます。

「氏名の検索」にセル上の氏名を右クリックして取り込み順位を調査：

例えば「毎回入力データ」シートの「16」行で「No4」の「青木 真理子」を「点数順集計表」シートで何位かを調べる場合について説明します。

- 1) 「毎回入力データ」「グラウンドゴルフ」タブの「検索」をクリックします。
- 2) 「16」行の氏名のセル「青木 真理子」を右クリックします。

- 3) 「氏名の検索」ダイアログボックスに「氏名」が取り込まれます。
- 4) 「点数順集計表」シートに切替た上で、「次を検索」ボタンを押します。
- 5) 「9」行の「青木 真理子」がアクティブセルになり「順位が」「5」位であることがわかります。そのまま別のシートに移動して同じ氏名をシートごとに調べる事も可能です。

6 その他このプログラムを使用する場合について

(1) 氏名の行を一行横に選択して分かり易く判別

順位を公表する場合などで印刷用紙を使用しないでパソコンの画面で順位の列から「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」を左に見る場合、字幕があるにもかかわらず見え辛い場合があります。

	A B C			D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z																					
1	点数順集計表																								
2	競技大会: 2015年03月29日(日)			グラウンドゴルフ同好会																					
3	No	GN	氏 名	1R			2R			3R			4R			Total			合計	アビ	順位				
4				実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打				3打	実打	H1	2打
5	3	1	瀬山 秋子	22		4	2	20	1	2	5	25	3	1	17	3	1	4	84	4	10	12	72	72	1
6	18	3	中川 由加里	19	1	4	2	19	5	3	21	1	2	4	19	5	3	78	2	16	12	72	72	2	
7	2	1	伊藤 紀江	29			5	19	5	3	22	3	4	14	3	4	1	84	3	12	13	75	75	3	
8	1	1	川岡 秀雄	23	2	5	23	2	5	23	1	1	4	16	2	4	2	85	3	9	16	76	76	4	
9	4	1	青木 真理子	24	2	4	21	3	5	19	6	1	17	1	5	2	81	1	16	12	78	78	5		
10	9	2	小泉 智恵子	20		4	4	23	3	3	21	1	2	4	21	1	2	4	85	2	11	15	79	79	6
11	15	3	谷口 浜子	26			6	20		4	4	21	1	1	6	20	1	3	87	2	8	19	81	81	7
12	26	5	野山 孝一	22		5		21	1	2	4	20	6	21	4	3	84	1	17	7	81	81	81	8	
13	10	2	小林 昭子	22		4	2	24		2	4	19	5	3	20	1	2	5	85	1	13	14	82	82	9

図 62 シートの行を前後と区別して見易く表示

- 1) 上記の場合氏名よりも右側のセルまたは「GN」のセルを「右クリック」してください。
「図 62 シートの行を前後と区別して見易く表示」のように行をすべて横に選択して文字を反転しますので読み易くなります。特に順位番号のセルを右クリックすると氏名などの発表で便利です。
- 2) 「毎回入力データ」シートでは4行が反転します。
- 3) 「点数順集計表」シートから右のシートは、「W」列までなら、どのセルを右クリックしても一行を横に反転します。
- 4) 薄黒く横一列に反転させたこの機能では、他のセルを左クリックすれば消えます。
- 5) 右クリックで横一列に反転するのはセルを選択しているので「Delete」キーなどを押すとデータが消えるので、そのような操作をしてはいけません。消す目的の場合はこの限りではありません。誤って操作した場合「元に戻す」ボタンが有効です。

(2) 印刷について

このプログラムは行数を固定した集計ではなく、1,000名まで自由に人数が変更られます。

そのため印刷する場合は人数に応じて自由に設定変更してください。

印刷プレビューに移動した場合は「印刷プレビューの表示」ボタンを押してください。

「毎回入力データ」シートは行数が他のシートに比べて多いので人数に応じて縦、横の向きと余白、「拡大／縮小」の率2%前後上げ下げして見るなどの設定変更してください。大きくは「毎回入力データ」シートと他のシートの2種類となるはずですが。大会前などで氏名より左の入力が終わっていて打数のデータが入力されていない場合でも＜集計＞を押すと他の集計シートに氏名を転記し、データが未入力のためその後でエラーは出ま

すが印刷するためのプレビューの確認はできるので事前に設定ができます。他の集計シートには氏名などのデータが残っていても集計時に自動クリアします。試合データを入力後に<集計>を押すと集計をします。これらの試しはサンプルデータでも確認ができますのでプレーの前によく確認して実行してください。

(3) 毎回入力データシートを使用しない場合

- 1) 「集計入力データ」シートを常用し「毎回入力データ」シートは使わないという場合は「毎回入力データ」シートを表示してデータが記されている範囲の4行～123行までの行ボタンの上をドラッグしてショートカットメニューを表示し<削除(D)>を押してください。非表示、または表示を戻す場合は次項の「[6 \(4\) 1](#)」「[6 \(4\) 1](#)」を参考にシート名を「毎回入力データ」シートに置き換えて解釈してください。

注意： 行ボタンの上をドラッグして表を削除した場合に再度利用する場合は「[4 \(5\)](#)「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む」、「[5 \(1\) 新規開始／追加／変更](#)」、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」や個人用の過去の試合データやバックアップを利用するなどです。次項の「[\(4\)](#)」の「集計入力データ」シートの場合は「[図 50 データ集計](#)」の図を表示してチェックマークを付けて実行するなどの方法があります。行ボタンで表を削除する場合はご注意ください。

(4) 集計入力データシートを使用しない場合

- 1) 「毎回入力データ」シートを常用し「集計入力データ」シートは使わないという場合は「集計入力データ」シートを表示してデータが記されている範囲の5行～34行までの行ボタンの上をドラッグしてショートカットメニューを表示して<削除(D)>を押してください。非表示、表示を戻す場合は前項同様です。

非表示にする場合：

- 1) 「集計入力データ」シートのシート見出しの上で右クリックし<非表示(H)>をクリックします。

表示に戻す場合：

- 1) 「ホーム」タブの「セル」で<書式>を選択し[再表示]で<表示/非表示(U)>—<シートの再表示(H)>—[再表示]ダイアログボックスで「表示するシート(U):」の「集計入力データ」を選択し<OK>をクリックします。

7 トラブルが起きた場合

(1) 全試合スコア集計タブのコマンドがシートで切り替わらない。その他のトラブル

1) <Alt>-<t>-<i>の順にキーを押してください。

2) 「図 63 アドインダイアログ」の図を開くので「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」のチェックを「OFF」にして無効化にしてください。

3) 同図の画面を閉じるので再度上記「1)」の操作をしてチェックを「ON」にして有効化してください。以上で初期化してメニューの修復をして起動します。

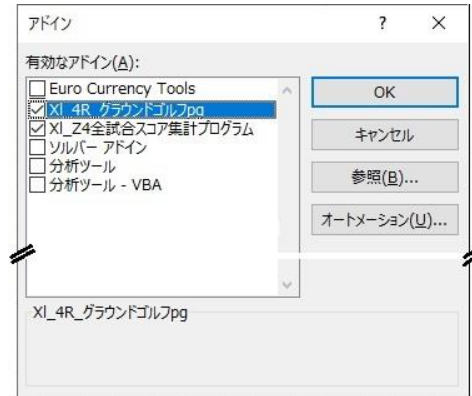


図 63 アドインダイアログ

(2) Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する

インストールが済んだ後で「XL_4R グラウンドゴルフ Pg.xlam」を「3 (6) アンインストール」を実行しないで手動で削除する、または「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\Add-ins\」フォルダから別の場所へ変更する、ファイル名を変えるなどをした場合は「図 64 Excel を開くたびに「ファイルが見つからない」メッセージ」の図を表示して、①の場合の例は「Excel2016」で、②の例は「Excel2010」の場合になります。

<OK>を押しても Excel を起動するたびに表示します。対処方法は次のとおりです。

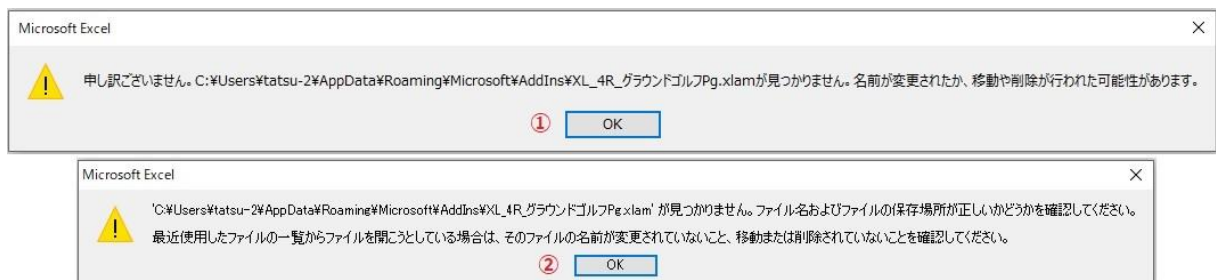


図 64 Excel を開くたびに「ファイルが見つからない」メッセージ

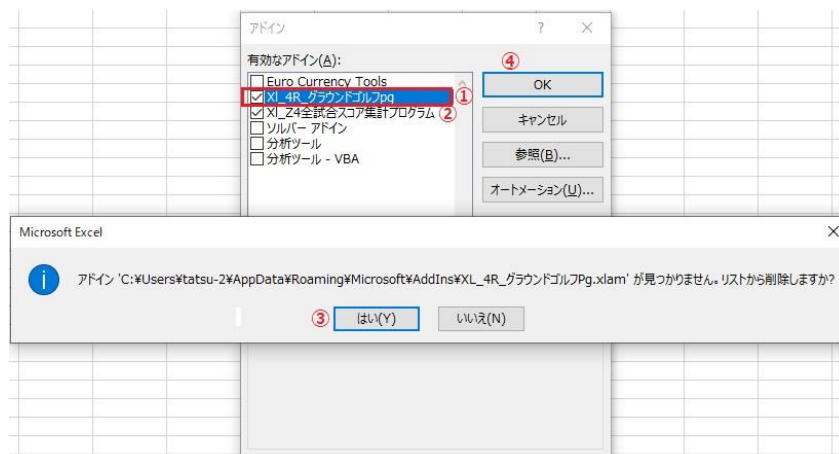


図 65 XL_4R グラウンドゴルフ Pg をリストから削除

対処方法 1 :

- 1) 白紙の状態 Excel を開いてください。
- 2) <Alt>-<t>-<i>の順でキーを押します。
- 3) 「図 65 XL_4R グラウンドゴルフ Pg をリストから削除」の図の裏面側「アドイン」ダイアログが開きます。
- 4) 同図の②「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」をチェック「OFF」にします。理由は「Excel2016」の場合「有効なアドイン」すべてがチェック「OFF」でないとアドイン名が削除できないためです。(Excel2010, Excel2013 は削除できるようです。「Excel2016」より後のバージョンは不明です) チェック「ON」が「XL_4R グラウンドゴルフ Pg」だけの場合はこの項はスキップしてください。
- 5) 続けて同図の①の「XL_4R グラウンドゴルフ Pg」をクリックすると③の「アドイン 〜 XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam が見つかりません。リストから削除しますか？」と表示します。
- 6) ③<はい>を押すと「XL_4R グラウンドゴルフ Pg」が消えるので④の<OK>を押して終了です。(「XL_4R グラウンドゴルフ Pg」のチェックを先に「OFF」した場合、同アドイン名が消えますが、後で「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」のチェック「OFF」にしても構いません)
- 7) 以上で以後は表示しません。当然本プログラムは再度「3 (3) インストール・アンインストール」を実行しない限り使えません。

対処方法 2 :

- 1) 「3 (6) アンインストール」により「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を開きます。



図 66 XL_4R グラウンドゴルフ Pg が見つかりません

- 2) 「図 14 アンインストール」の図が開くので<削除>を押します。
- 3) 「図 66 XL_4R グラウンドゴルフ Pg が見つかりません」の図が開きます。
- 4) 同図に書いてある操作方は前項の「対処方法 1 :」の「3」の操作と同じになりますので同項以降をご覧ください。

(3) ある日突然考えられないような異常な動作をするようになったなどの場合

Windows のバージョンアップがあった後、考えられないような動作をするといった場合に回復した例があります。このほかの考えられない動作をするような場合は一応以下を試して見てください。(Excel 自体がおかしくなりプログラムは問題ないのに異常ということが過去にあり以下の操作で修復したことがありました)

- 1) Excel をすべて閉じて、添付の「3 (6) アンインストール」を実行してください。
- 2) Windows を再起動します。

- 3) 次に「[3 \(5\)インストール](#)」を実行してください。
- 4) 以上で正常に動作するか試してみてください。

8 データベース化した本プログラムの使い方要約

この説明は GG 同好会などの試合後に、添付した（「[図 7 配布ファイルの内容](#)」参照）次の 2 個のサンプルプログラムを使用して簡単にデータ取り込み集計する簡易説明です。

- ・ XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx
- ・ XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx

ここでは添付のフォルダ「[図 7 配布ファイルの内容](#)」を「GG 同好会全試合データ 2014」使用して「XL_4R_GG_同好会_2015 03 30.xlsx」ファイルのデータを作って説明します。

(1) 新しい大会集計用ファイルを作る

（ユーザー用の運用フォルダの作り方は「[4 \(3\) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る](#)」並びに「[4 \(4\) 2 回目以降の競技集計用ファイルを作る](#)」の項に記述）

- 1) エクスプローラーを開きます。または Excel の<ファイル>-<開く>-<ファイルを開く>からアクセスしても構いません。
- 2) 「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの中の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」をダブルクリックしてください。
- 3) 「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」が開きます。
- 4) <日付競技大会名>をクリックしてください。
- 5) 「日付と競技大会の入力」が開きます。
- 6) 「西暦年月日」は本日の日付を表示するので「2015」年「03」月「30」日と入力して「Enter」キーを押してください。（2015 年です。間違えないようにしてください）
- 7) 「大会名」をフォーカスするので変更はないのでそのまま「Enter」キーを押します。
- 8) <保存>を押すと「保存の確認」が表示するので試合日：「2015/03/30」を確認して<OK>ボタンを押します。以上で「[2](#)」項の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの中に「XL_4R_GG_同好会_2015 03 30.xlsx」の試合集計用ファイルが出来ました。
（「XL_4R_GG_同好会_2015 03 30.xlsx」は試しが済んだ後で、削除してください）

(2) メンバーの試合順位構成する

（詳細は「[4 \(6\)](#)」「[4 \(7\)](#)」に記載）

- 1) 「メンバー編集」シートをクリックして移動してください。
- 2) 実際にはこのシートでメンバー順を構成しなければなりません但し既にサンプルが入力されており「[4 \(6\)](#)」「[4 \(7\)](#)」の項の説明を基に次項の「[3](#)」～「[7](#)」を入力したと仮定し、ここでは「[\(3\)1](#)」項に進んでください。
- 3) 氏名の I 列を下に範囲ドラッグして選択範囲枠の端をクリックして F 列にドラックし Ctrl キーを押して F 列へ貼り付けます。
- 4) D 列の氏名をすべて削除します。
- 5) <メンバー右クリック入力>コマンドをクリックすると同ダイアログが表示します。
- 6) 「F」列の氏名の上でスコアカードを見ながら順番に右クリックして書き出します。

- 7) 「A～D」列の記入がすべて終了した場合は次項に進んでください。
- 8) 「4 (7) グループ_スタート編集」により「No」「GN」「Start Hole」を編集します。

(3) 「No」「GN」「Start Hole」「氏名」の取込

(詳細は「4 (5)」の項に記載)

- 1) 「毎回入力データ」シートをクリックしてください。
- 2) <氏名の取込>をクリックしてください。
- 3) 「メンバー編集」シートに切り替わり「氏名の取込」ダイアログボックスが開くので「全行取り込み」を選択して<OK>を押すと No、GN、Start Hole、氏名を取り込みます。

(4) 打数の入力と成績順位の集計

- 1) トップの「氏名」の上を右クリックして「データ入力」ダイアログを開きます。
- 2) 「試合打切」が初期値「4」になっているので試合するラウンド数にしてください。
- 3) 打数を4桁ずつ記憶して1Rの1H～8H入力し「実打」と「合計」を照合します。
(大会のように1ラウンドごと打数を入力する場合は「試合打切」は「0」です)
- 4) 2R、3R、4Rまで同じように入力し、「実打」、「合計」、「Total」の合計を照合します。
- 5) 全部の人数の入力が終わると全員の合計のみを再度照合します。
- 6) <データ集計>コマンドを押すと、「点数順集計表」シートに結果を表示します。
- 7) 「上書き保存」します。「上書き保存」をしていない場合は次の「9)」実行した場合に保存確認のメッセージを表示します。
- 8) 「点数順表」を印刷する場合は同シートで<印刷>を押してください。
- 9) 本プログラムから「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」に移動する場合は「毎回入力データ」シートから<Z4 全試合スコア集計>コマンド(アイコン)をクリックすると自動的に<XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx>が表示します。

(5) XL_Z4_AR 全試合スコア集計プログラム

- 1) 前項「(4)9)」項で本プログラムが起動できます。またはエクスプローラーからの場合は「ドキュメント¥XL_4R_G ゴルフ 13.01¥GG 同好会_4R¥GG 同好会全試合データ 2014¥全試合スコア集計¥」フォルダで「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」をダブルクリックしてください。
- 2) 「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を開きます。
- 3) 「年間全データ」シートで<最新競技取り込み>コマンド(アイコン)を押してください。「実行確認」が開くので<OK>を押すと各シートが集計されます。
- 4) 「上書き保存」をします。
- 5) 「年間・月間集計表」を印刷する場合は<印刷>コマンド(アイコン)を押してください。この他必要なシートがある場合は印刷してください。

参考：【重要なのは「XL_4R_GG_同好会_yyyy mm dd.xlsx」などの同年度の競技ファイルを「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダ内にまとめて保存し、同じ同好会以外の他のファイル入れてはいけません】フォルダ構成は「図 16 ユーザー用フォルダの作り方」を参考にしてください。

9 バージョンの変更内容

Ver1.00～Ver10.00 までのバージョンについては省略します。

バージョンの見方は各シートにある「バージョン情報」をクリックすると「図 67 バージョン情報」の図が表示します。

(1) バージョンアップについての変更内容

1) Ver11.00 バージョンアップ変更内容。

- a. リボンのタブに変更しました。データはバージョンを前バージョン 10.00 に更新してあれば、そのまま使用できます。
- b. Excel64 ビットの動作に対応するため「アンインストール」をした場合に「3 (6)4)」項でゴミ箱に入れていた「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」を完全削除とし「グラウンドゴルフインストール・アンインストール. xlsx」のバージョンアップをしました。
- c. Excel64 ビットに対応するため「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」のプログラムを修正しています。
- d. リボンのタブ方式に対応するため説明書を全面的に修正しています。

2) Ver11.01 バージョンアップ変更内容。

- a. Ver11.00 での修正漏れを補正しています。但し、11.00 による特に問題は起きていません。このバージョンではアンインストールとインストールをするだけで現用の試合ファイルを使用できます。
- b. スコアカードフォルダに添付の「ABC 地区対抗 GG スコアカード. xlsx」について This Workbook のインポートをわすれたために修正しました（不具合の内容は他の Book へ移動して戻った時タブが表示できないのと検索の右クリック入力ができない）。

3) Ver12.00 バージョンアップ変更内容。

- a. 本プログラムと共に添付の「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム. xlsx」において年度の途中から新規開設をした場合に「全試合スコア集計」でエラーが発生して集計できないという重大なバグがあることがわかりました。（但し、4 月、7 月、10 月から新規開始の場合は問題ありませんが、これ以外の月から開設の場合はエラーになります）ご使用の場合は事前に「XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V5.02.*」説明書の「Ver5.02 バージョンアップ変更内容」に初期化して最初からデータを取込替えてからご使用くださいと記述してあるので最初に同説明をご覧になった上でご使用ください。
- b. このプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlsx」では問題はありませんが、ベクターで掲載の「XL_4R_Ggolf*. zip」ファイルが本プログラムのバージョン番号で公開しているため本プログラムもバージョンアップしました。



図 67 バージョン情報

ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。

- c. 表紙に記載のホームページで「説明書の重要な誤記と訂正」として公表していましたが「図 16 ユーザー用フォルダの作り方」で赤枠内の「添付ファイル」と「ユーザー用」の文字列が上下入れ替わっていましたので修正しています。ホームページの本項に関する文章はこのバージョンアップと共に削除いたします。
- d. 「グループ別集計表」シートで「Total」列の小計行に「エラーインジケータ」（緑色の左上セルに三角マーク）が出ると申告がありました。式に間違いはなく最終のグループも同じ式であるにもかかわらず同表示は出ないと言う矛盾が Microsoft 側にもありこのプログラムが開いている場合は＜オプション＞－＜数式＞－＜バックグラウンドでエラーチェックを行う＞をプログラムが OFF にするようにしました。初めから OFF の場合はそのままです。常にチェックをしている人はプログラムが終了すると「ON」に戻します。作者はこの機能が参考にならないために常に「OFF」にしていました。
- e. 「ホールインワン」が全ラウンドの試合で 1 個もない場合に「ホールインワン集計表」と、「グループ別のホールインワン順集計表」シートでエラーが発生していたバグを修正しました。

4) Ver12.01 バージョンアップ変更内容。

- a. 表紙のホームページに掲載していたように Ver12.00 でベクターの公開に間に合わず次の公開日に回されました。次の公開日に同じバージョン番号で公開されるとご使用者が混乱するため Ver12.01 でベクターに差し替え申請したことによるものです。
バグの修正内容は「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」でホールインワンが同一日の全ラウンドの試合で一人も出なかった日がある場合「ホールインワン集計表」シートより右のシートの集計でエラー内容： Cause : 8100 と表示することが分かりました。このバグは点数順集計表などの順位に影響はありません。「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム. xlam」の集計にも影響しません。近い日にちでのバージョンアップで申し訳ありませんでした。

5) Ver12.02 バージョンアップ変更内容。

- a. 「毎回入力データシート」以外のシートで上書き保存ボタンを押した場合は各シートのカーソルをホーム位置に戻して後、「毎回入力データシート」を表示して終了できる体制になりますが、この時リボンのタブを「毎回入力データシート」用に切り替えできなくて、元の表示のままだったので修正しました。ブックを閉じて次に使用する場合は正しく表示するので問題は無いのですが念のため修正しました。
- b. 本説明書で青い文字のリンクに異常があった部分やページに空白ができ部分などを修正しました。

6) Ver12.03 バージョンアップ変更内容。

- a. 本プログラムの変更はありませんが「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」の Ver5.03 にバージョンアップしたことによってバージョン番号を Ver12.03 に更新しています。
このため配布用プログラムの＜XL_4R_G ゴルフ Add-inPG＞－＜グラウンドゴルフインス

ツール・アンインストール>を実行し一旦旧ファイルを削除し再度、同プログラムを実行してインストールしてください。インストールの詳しい方法は「3 (7)新バージョンに更新する場合」に記載しています。バージョン番号の確認は「9バージョンの変更内容」に記載しています。

- b. 「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」はシートの変更があります。このため、本プログラムを既にご使用中のユーザーの場合はバージョンアップするシートを先に増やすなどの手順があるので「XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V600」をご覧ください
- c. 2024/03/01 に Ver12.03 を発行して、2024/05/14 には 本説明書の「3 (2)インストール前の注意事項 (重要)」を追加修正しただけであってプログラムは変更していません。

7) Ver13.00 バージョンアップ変更内容。

- a. 「図 19 日付と大会名の変更」、「図 20 日付と競技大会名の入力」の図で示すように日付の後に曜日を自動で表示するようにしました。
- b. 「図 44 「毎回入力データ」シート打数の入力」図で「毎回入力データ」シートの最終行のメンバーにデータを入力する場合、<セルへ転送>ボタンを押すとシートヘデータが入力されたにもかかわらずダイアログにデータが表示した状態で紛らわしいため最終行にデータが入力された場合はダイアログが閉じるように変更しました。
- c. 本プログラムから「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」に移動する場合は「毎回入力データ」シートから<Z4 全試合スコア集計>コマンド (アイコン) をクリックすると自動的に<XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx>が表示するようにしました。
- d. 「メンバー編集」シートで「メンバーシート書き出し」を実行すると「毎回入力データ」シートへ切り替わるバグを修正しました。
- e. 「メンバー編集」シート「スタートホール番号記入」で「表間ステップ数」が機能していなかったため修正しました。

8) Ver13.01 バージョンアップ変更内容。

- a. 「図 18 ユーザー用フォルダ構成」図で説明している⑦、⑩、⑪、⑫、のファイル名が「XL_4R_GG_同好会_2025_01_16」などのように日付が1~3月の間である場合に、これらの試合したデータを集計後、リボンのコマンド「Z4 全試合スコア集計」を押して「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 yyyy.xlsx」に移動しようとした場合エラーになるバグがあり修正しました。(このバグのためユーザーはファイル名「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 yyyy.xlsx」を直接起動してしよする必要があった)
- b. 「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」の変更はありませんので「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」でバージョンアップする必要はありません。

10 拡張子の説明

(1) 拡張子について

1) ファイル名の例

「XL_4R 同好会 yyyy mm dd.xlsx」(この場合「xlsx」が拡張子です)

ファイル名の最後に表示する「.」から右側に表示した文字列で、ファイルの種類または

形式を識別する目的です Excel2000～2003 では「xls」、Excel2007 以降のバージョンの場合は「xlsx」となります。

Word2000～2003 の場合は「doc」 Word2007 以降では「docx」となります。

Excel2007 以降で、「GG_同好会メンバー2014 年度.xlsm」のようにマクロを含む場合は「xlsm」となります。

(2) Windows10 の拡張子の表示方法：

- 1) エクスプローラーを開きトップの<表示>タブを選択します。
- 2) <オプション>を選択します。
- 3) 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの<表示>をクリックします。
- 4) 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。

(3) Windows11 の拡張子の表示方法：

- 1) エクスプローラーを開きトップの「…」をクリックして<オプション>を選択します。
- 2) 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの<表示>をクリックします。
- 3) 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。